取扱説明書

電話機(IP-36N-ST101C)用設定支援ソフトウェア

ＳＩＰ端末設定ツール

SIPManager

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

IP-36N-ST101C(W)

IP-36N-ST101C(B)

NAKAYO

F-6538-1

必ずお読みください

このソフトウェアは、弊社が提供する電話機(IP-36N-ST101C)に対して、設定データ取込や設定ファイル送信、ファームウェア転送などの保守作業を支援します。

この取扱説明書では、本ソフトウェアや電話機を正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本ソフトウェアの本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

●本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社へお申しつけください。

●本ソフトウェアや電話機は、日本国内用に設計されておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

●本ソフトウェアや電話機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●本ソフトウェアによる保守操作では、電話機の設定ファイルを編集したり、保存することがあります。この設定ファイルには、電話番号(ユーザＩＤ)や電話帳などの個人情報に相当する内容が含まれていますので、取扱いに注意してください。

●本ソフトウェアおよび本書の一部または全部の無断改変、無断転載を禁止いたします。
Copyright (C) NAKAYO , Inc.

●本書の内容は、予告なしに変更することがあります。

●文中の会社名・商品名は、各社の登録商標または商標です。

●ＳＩＰ端末設定ツール（SIPManager）をインストールするときに既に旧バージョンがインストールされている場合は、必ずアンインストールを行ってください。
アンインストールを行わずにインストールした場合は、本ソフトウェアの本来の性能を発揮できない場合があります。
（アンインストールの手順は、本書「2.3章 アンインストール」をご参照ください。）

●設定ファイルの編集を行う際は、本書の他に提供される電話機の「工事説明書」や「設定情報」などの参考情報が必要となりますので、作業を始める前に準備しておいてください。

目次

目次 1

１．運用方法 3

１．１　概要 3
(1)本ソフトウェア（ＰＣ）と電話機の接続イメージ 3
(2)本ソフトウェアでできること 3
(3)ファイル構成 4
１．２　本ソフトウェアの動作条件 5

２．準備 6

２．１　インストール 6
手順①：ファイルの準備 6
手順②：インストールのセットアップ 6
手順③：インストール先の指定 7
手順④：インストールの開始 7
手順⑤：インストールの完了 8
２．２　ソフトウェアの起動 10
手順①：ＰＣのネットワーク接続 10
手順②：SIPManager の起動 14
手順③：端末リストの準備 14
２．３　アンインストール 15
手順①：アンインストールの開始 15
手順②：削除実行の確認 15
手順③：不要データの削除 15

３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方 16

３．１　操作画面と機能 16
３．２　初期設置時の設定をする（１台毎の設定） 18
手順①：ＰＣのＩＰアドレス設定 18
手順②：電話機とＰＣの接続 18
手順③：本ソフトウェアの起動 18
手順④：グループ作成 19
手順⑤：電話機検索 21
手順⑥：設定編集 23
手順⑦：設定ファイル送信 25
３．３　既設の電話機の設定ファイルをコピーして電話機を増設する（複数台の一括設定） 28
手順①：ＰＣのＩＰアドレス設定 29
手順②：ＰＣの接続 29
手順③：本ソフトウェアの起動 29
手順④：グループ作成 29
手順⑤：既設の電話機検索 31
手順⑥：増設の電話機を接続 32
手順⑦：増設の電話機検索 32
手順⑧：コピー＆ペースト 33
手順⑨：設定編集 36
手順⑩：設定ファイル送信 38
３．４　電話帳ファイルを新規作成して電話機に送信 41
手順①：電話帳ファイルの新規作成 41
手順②：電話帳ファイル送信 46
３．５　ファームウェアの更新 49
手順①：更新用ファームウェアの保存 49
手順②：ファームウェア転送 50

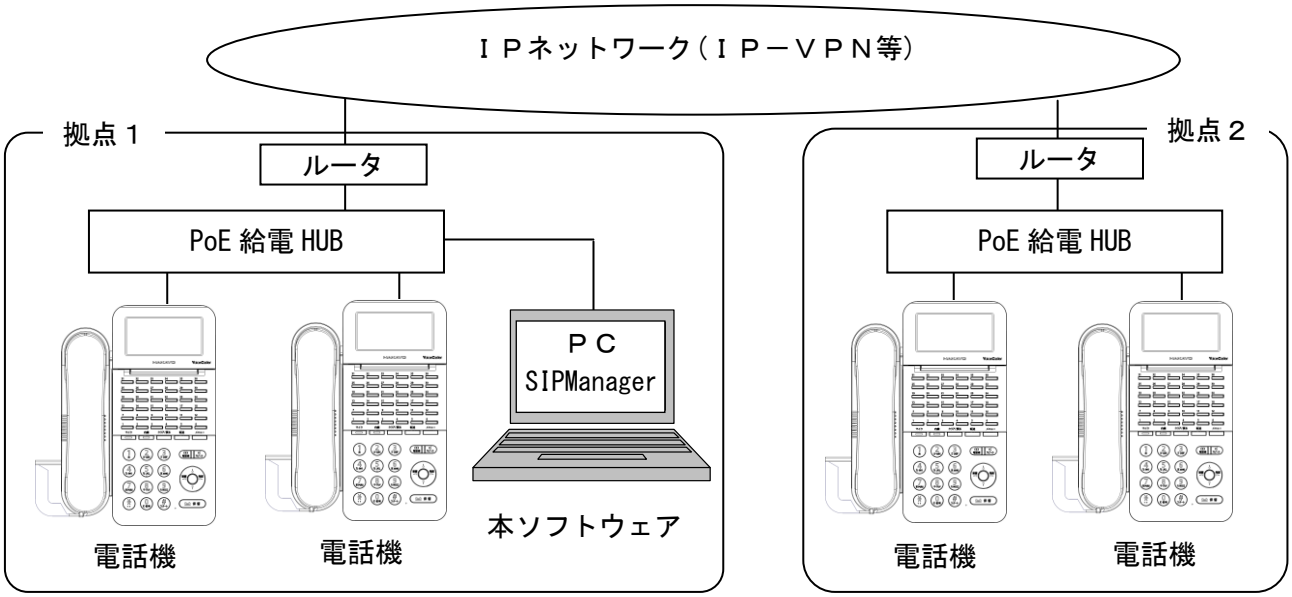
４．付録 53
４．１　トラブルシュート 53
４．２　ＦＴＰログインパスワードの変更 54
手順①：ＦＴＰ設定 54
手順②：グループ選択 54
手順③：パスワード変更 55
４．３　一覧表示整列機能（ソート） 56
手順①：昇順整列 56
手順②：降順整列 56
４．４　電話帳変換シート 57
４．５　来歴 58

１．運用方法

１.１　概要

本ソフトウェアは、ＰＣにインストールして使用し、電話機が収容されるネットワークに接続することで、複数の電話機に対する設定データ取込や設定ファイル送信、ファームウェア転送などの保守作業を支援します。

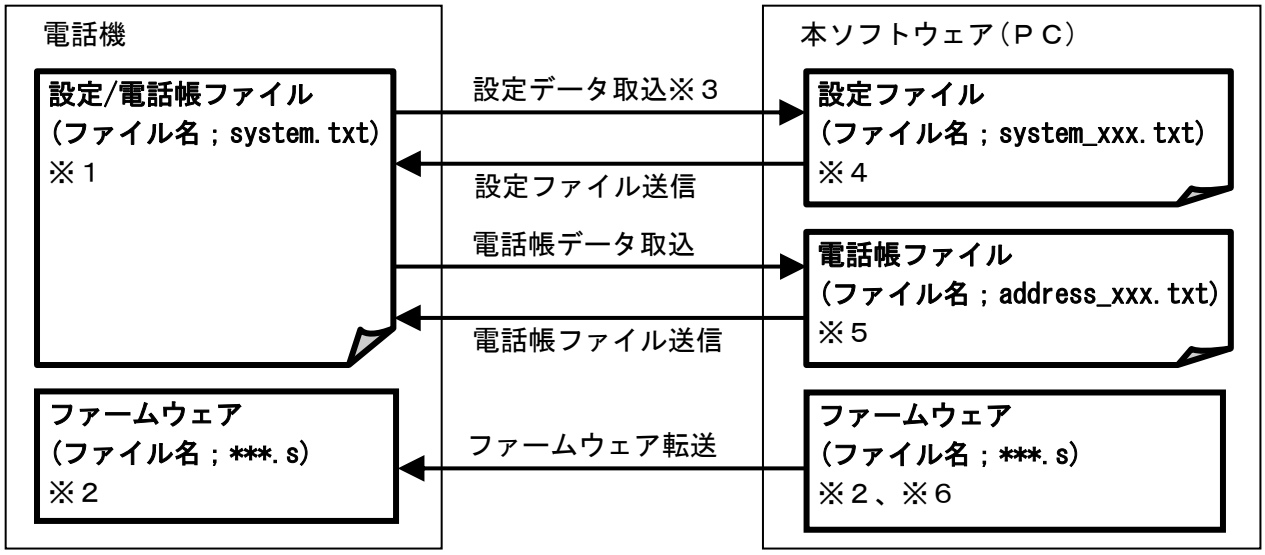
(1)本ソフトウェア(ＰＣ)と電話機の接続イメージ
　※下図の場合、拠点２の電話機は、本ソフトウェアで設定することはできません。



(2)本ソフトウェアでできること
　①ネットワークに接続された電話機の検索
　②電話機から各種設定データを含む設定ファイルの取込及び送信
　③電話機から電話帳データを含む電話帳ファイルの取込及び送信
　④電話機が動作するためのファームウェア更新

(3)ファイル構成

ファイル構成は、次の通りです。



おしらせ

※１、設定/電話帳ファイルは、電話番号や機能ボタンの割付、電話帳等、電話機の動作に必要な情報が含まれています。

※２、ファームウェアは、電話機が動作するための通信制御や状態制御を行うソフトウェアです。
本書では、ファームウェアのファイル名を”***.s”と一例で記載します。
***は、ファームウェアのバージョンなどで識別する場合があります。

※３、「設定データ取込」は、本ソフトウェアの「電話機検索」でも行うことができます。

※４、設定ファイルは、本ソフトウェアをインストールしたディレクトリの”Data”フォルダに保存します。（例 C:¥NAKAYO¥Group¥ggg¥Data）ggg は、任意グループ名です。
ファイル名は、”system_xxx.txt”として保存します。
xxx には項番が保存されます。（例 項番１の場合、system_001.txt）

※５、電話帳ファイルは、本ソフトウェアをインストールしたディレクトリの”Address”フォルダに保存します。（例 C:¥NAKAYO¥Group¥ggg¥Address）ggg は、任意グループ名です。
ファイル名は、”address_xxx.txt”として保存します。
xxx には項番が保存されます。（例 項番１の場合、address_001.txt）

※６、ファームウェアの入手については、販売店もしくは弊社のサービス保守窓口にお問合せください。詳しいファームウェア更新方法は、本書「3.5 章 ファームウェアの更新」をご参照ください。

１．運用方法

１.２　本ソフトウェアの動作条件

本ソフトウェアの動作に必要なＰＣの条件は、次の通りです。

項目	仕様
ハードウェア	ＯＳの動作条件による
対応ＯＳ	･Microsoft® Windows® 7(SP1 以降) Professional 日本語版(32/64bit 版) ･Microsoft® Windows® 8.1 Pro 日本語版 (32/64bit 版) ･Microsoft® Windows® 10 Pro 日本語版 (32/64bit 版)
ＣＰＵ	ＯＳの動作条件による
メモリ	ＯＳの動作条件による
ハードディスク	１００ＭＢ以上の空き容量 (データの保存状況によって更に必要な容量が増えることがあります)
ディスプレイ	１０２４×７６８ドット以上を推奨
その他	ＬＡＮインタフェース(１０/１００ＢＡＳＥ/１０００ＢＡＳＥ)、 キーボード、マウス 「.NET Framework 4.6」以上がインストールされ有効化されていること

・Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

・Microsoft® Windows® 7 Professional SP1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 10 Pro の表記について、本書では Windows7、Windows8.1、Windows10 と省略することがあります。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本ソフトウェアの本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

●ネットワーク環境(トラフィックやファイアウォールなどの影響)によっては、電話機と正常に接続できないことがあります。

●誤って異なる機種の設定ファイルやファームウェアを転送すると、電話機が正常に動作できなくなることがありますので、注意してください。

●Windows7 及び Windows8.1 は「.NET Framework 4.7.2」が標準搭載されていないので、お使いのＰＣによってはインストール時に、「.NET Framework 4.7.2」のインストールを求められる場合があります。

●本書の画面は、特に指定がない限り Windows10 の画面を使用しています。また OS や本ソフトウェアのバージョンの違いによって表示される画面及び操作が異なる場合があります。

２．準備

ここでは、本ソフトウェアを使用するための準備について説明します。

２.１　インストール

本ソフトウェアのインストール方法について説明します。

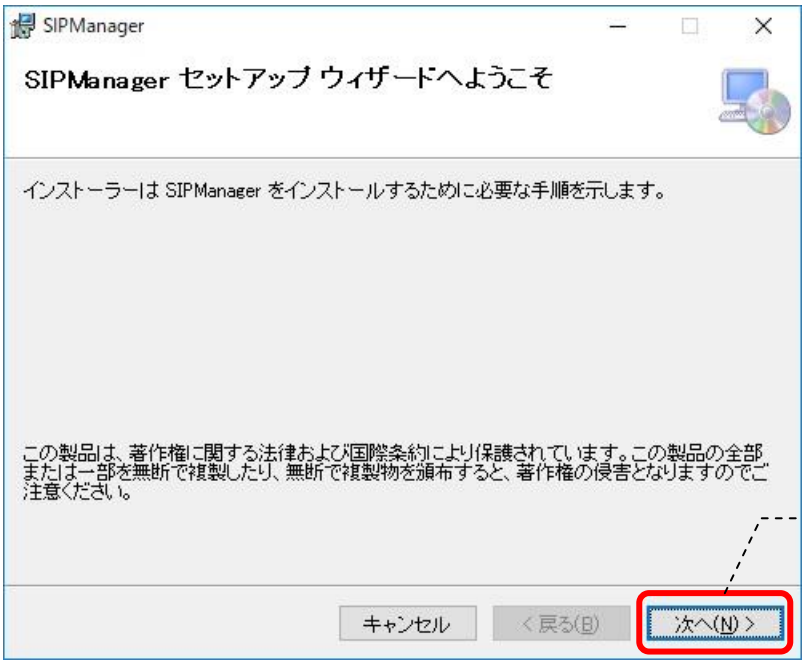
手順①：ファイルの準備

入手したファイルが圧縮されている場合、解凍してインストール可能なファイルに展開し、次の構成となっていることを確認します。

SIPManager-Vx.x.x.zip　（Vx.x.x は本ソフトウェアのバージョンを示します。）
├─SIPManager_Setup.msi
├─SIPManager 取扱説明書.pdf
└─電話帳ファイル変換シート.xls

手順②：インストールのセットアップ

上記ファイルの“SIPManager_Setup.msi”を起動すると、確認ダイアログボックスが表示される場合がありますので、表示された場合は「はい」をクリックします。
その後、セットアップ開始画面が表示されます。 内容を確認の上、「次へ(N)」※１をクリックしてください。



クリックする。

おしらせ

※１、本書ではソフトボタンのキーボードショートカット名称を省略する場合があります。
例「次へ(N)」または「次へ」など。

お願い

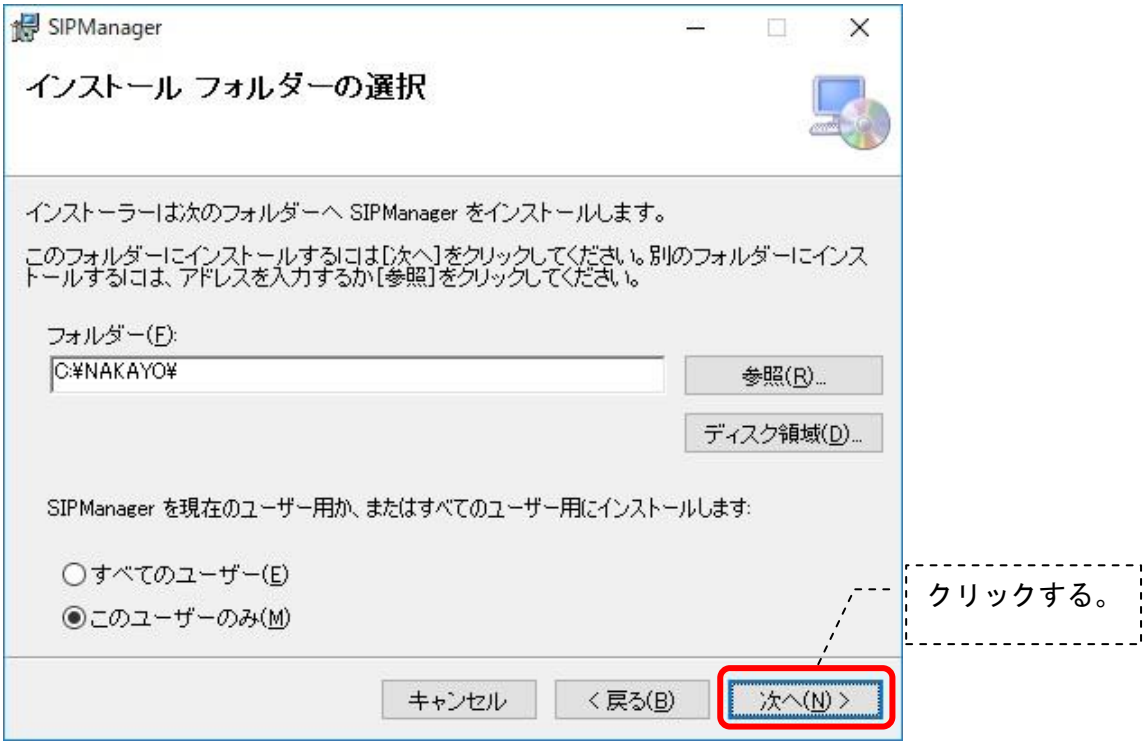
次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本ソフトウェアの本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

●既に旧バージョンがインストールされている場合は、必ずアンインストールを行ってください。
アンインストールを行わずにインストールした場合は、本ソフトウェアの本来の性能を発揮できない場合があります。
（アンインストールの手順は、本書「2.3 章 アンインストール」をご参照ください。）

２．準備

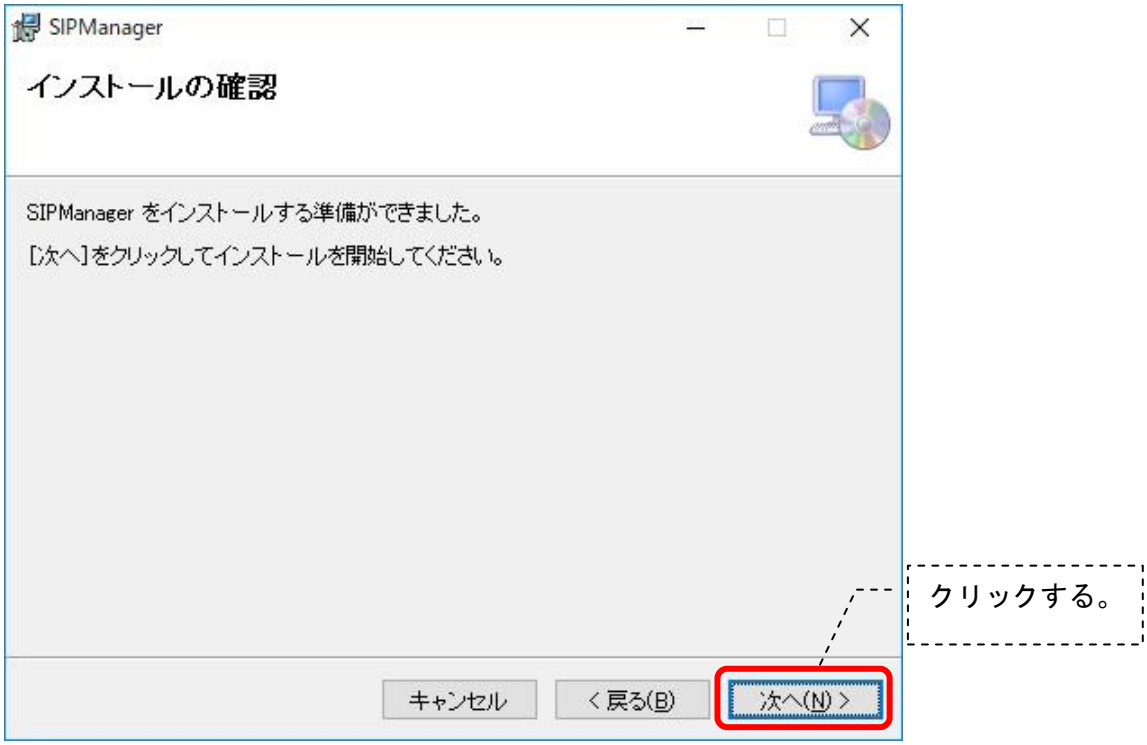
手順③：インストール先の指定

次に、インストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。デフォルトは「C:¥NAKAYO¥」に設定されています。インストール先を変更する場合は、アドレスを入力するか、「参照(R)」をクリックし、変更先のフォルダを指定します。準備ができたら、「次へ」をクリックしてください。

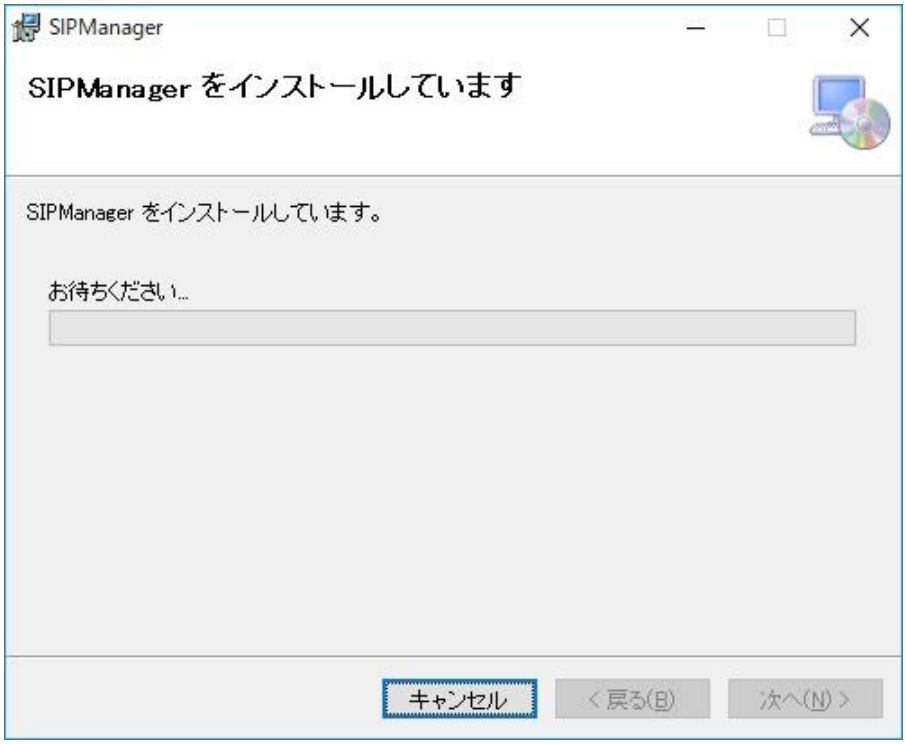


手順④：インストールの開始

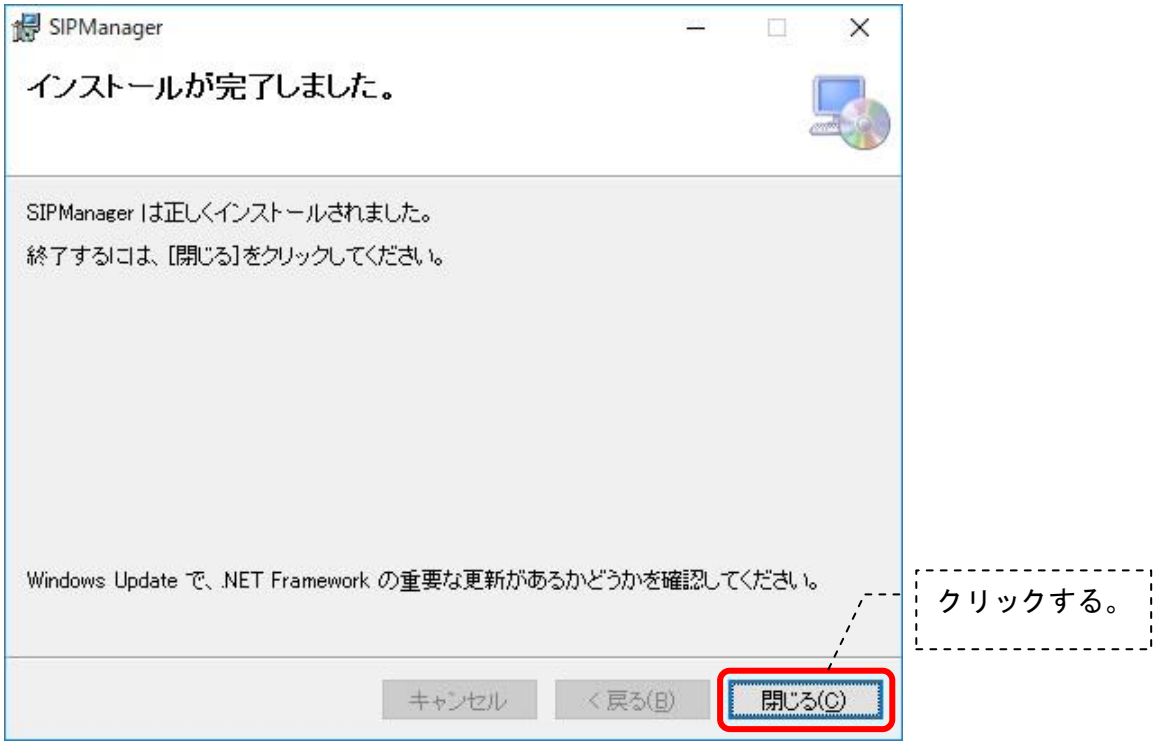
次に、インストール開始確認画面が表示されます。「次へ」をクリックするとインストールを開始します。



インストール中は進捗状況を表示する画面が表示されます。
「キャンセル」をクリックするとインストールが中止されます。



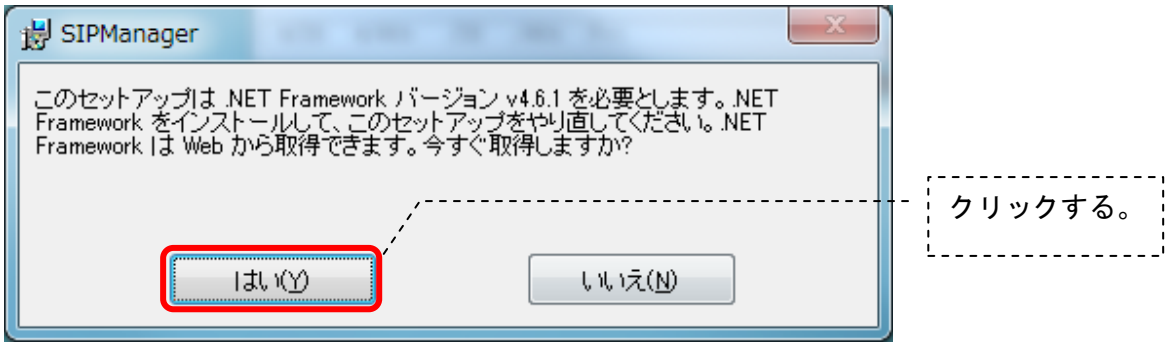
手順⑤：インストールの完了
インストールが完了すると、次の画面が表示されます。「閉じる」をクリックしてください。

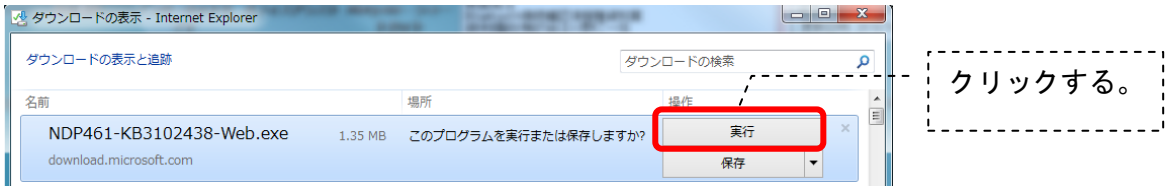


デスクトップ上に本ソフトウェアのショートカットが作成されます。

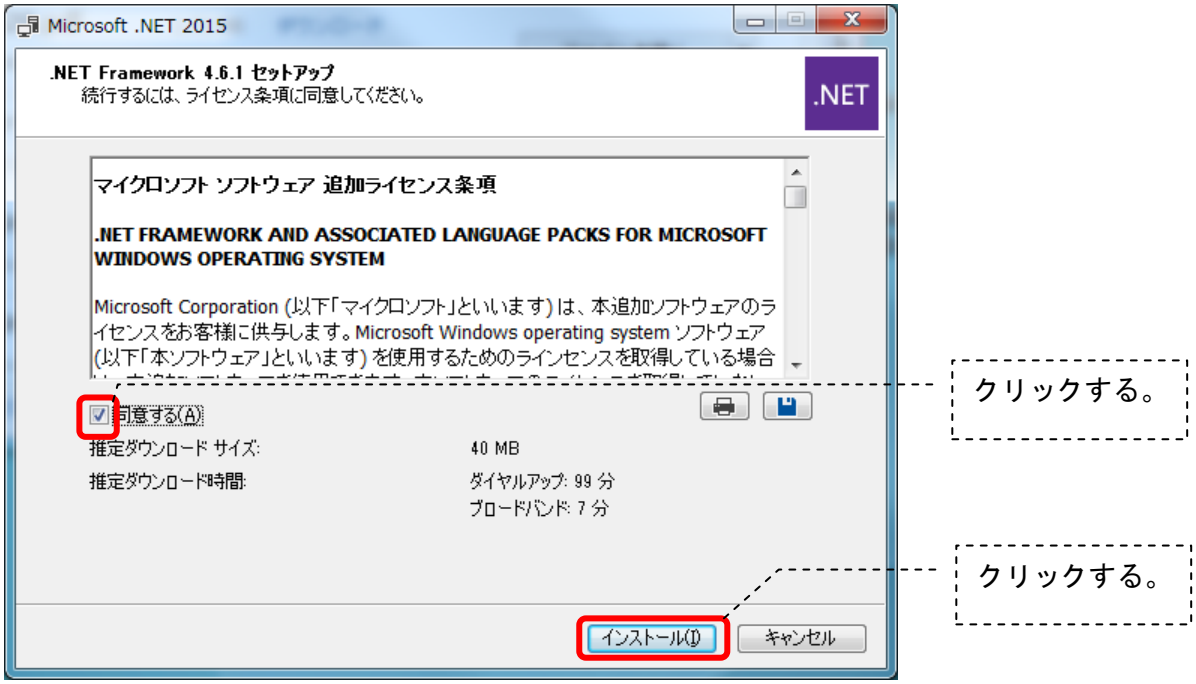
２．準備

●インストール時に、「.NET Framework 4.6.1」のインストールを求められた場合、手順②で“SIPManager_Setup.msi”を起動した際に、ＰＣに「.NET Framework 4.6.1」が搭載されていないと、「.NET Framework 4.6.1」のインストール画面が表示されます。※画面は「Windows7」のものです。





「同意する」をクリックして、「インストール」をクリックするとインストールが開始されます。



「.NET Framework 4.6.1」のインストールが完了しますと、手順②のセットアップ開始画面が表示されます。セットアップ開始画面が表示されたら手順②以降からインストール作業を行ってください。

２．準備

２.２　ソフトウェアの起動

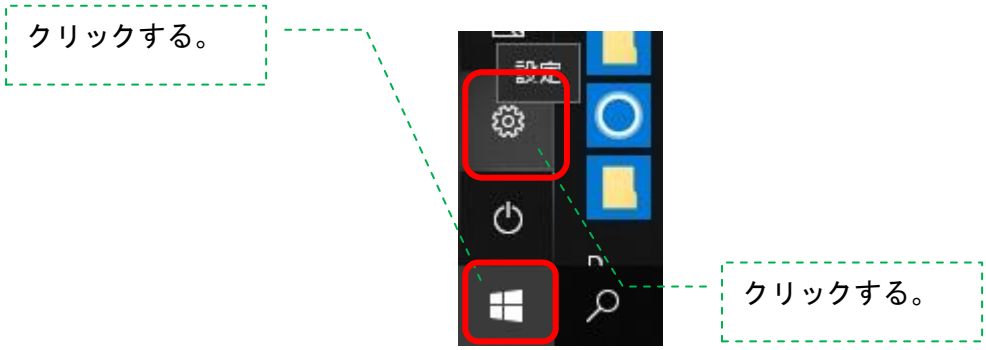
ここでは、本ソフトウェアの起動方法について説明します。

手順①：ＰＣのネットワーク接続

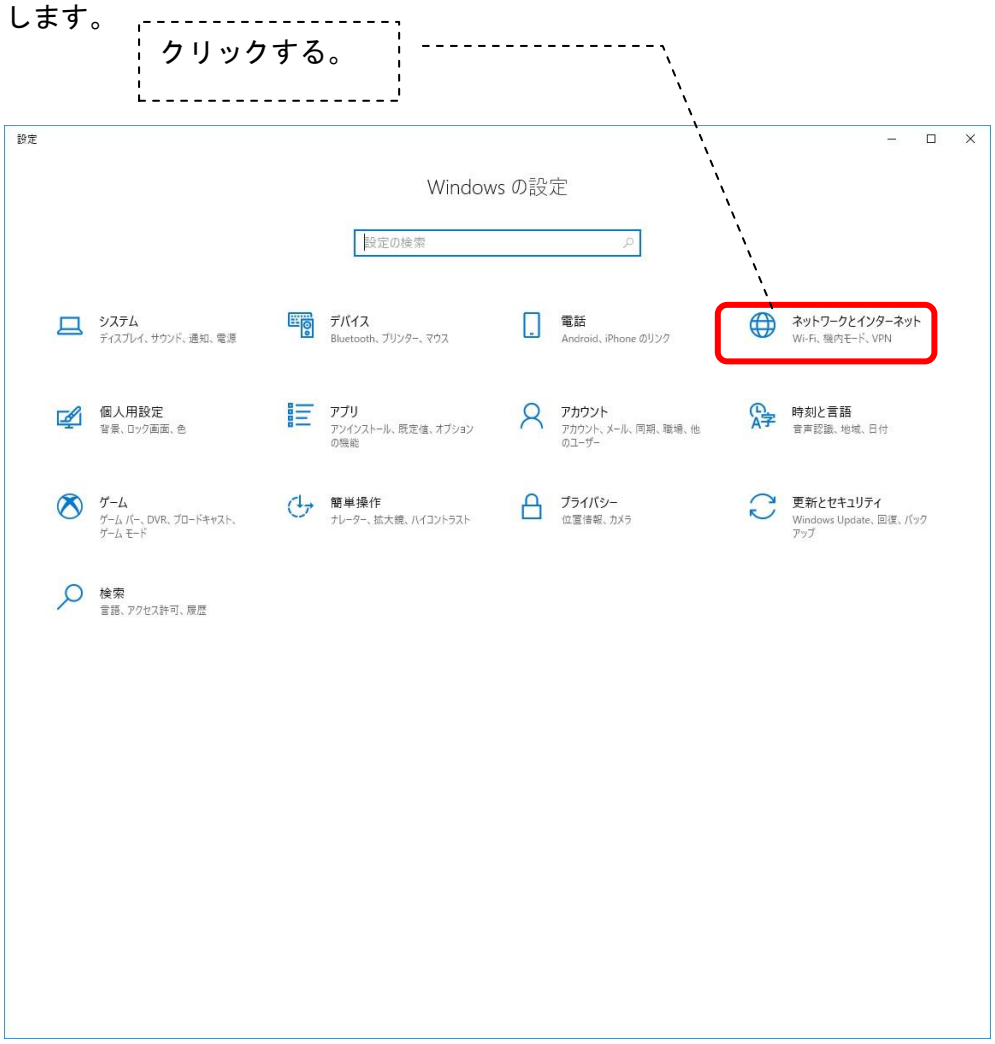
本ソフトウェアを起動する前に、ＰＣを電話機が収容されたネットワークに接続します。このとき、ＰＣのネットワーク接続パラメータ（ＩＰアドレス等）を、接続するネットワークに合わせて設定しておく必要があります。

(1)「ネットワークと共有センター」を開く。

「Windows スタートボタン」（ＰＣの左下）をクリックし、「設定」をクリックします。



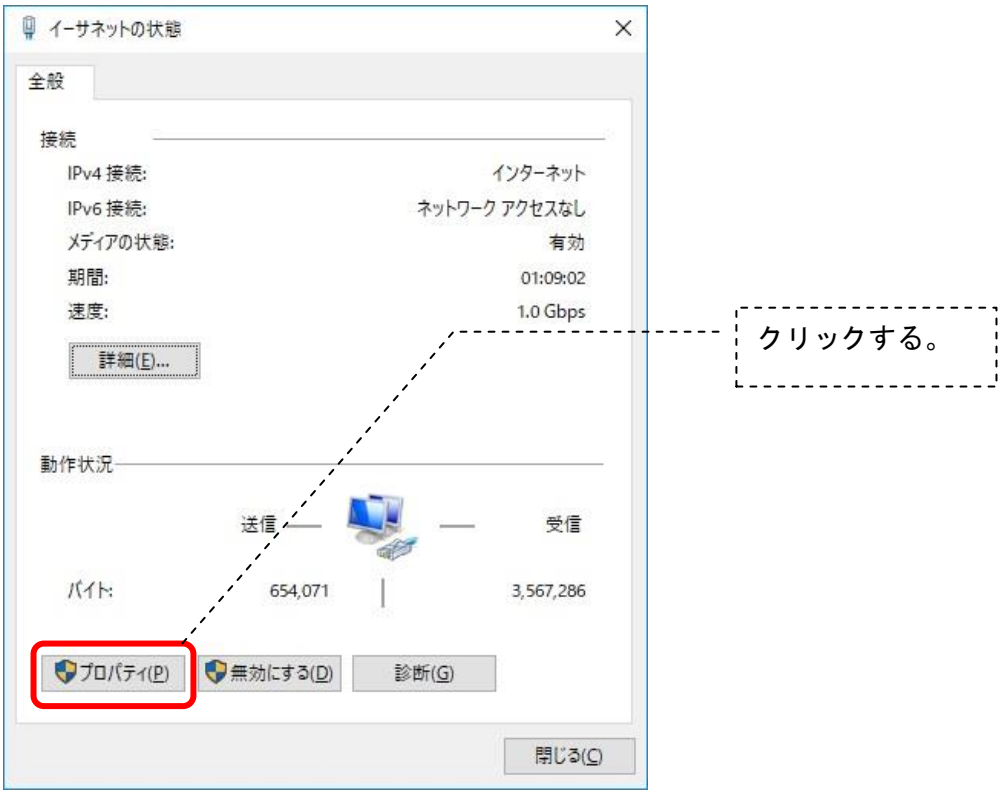
「Windows の設定」画面が表示されるので、「ネットワークとインターネット」をクリックします。



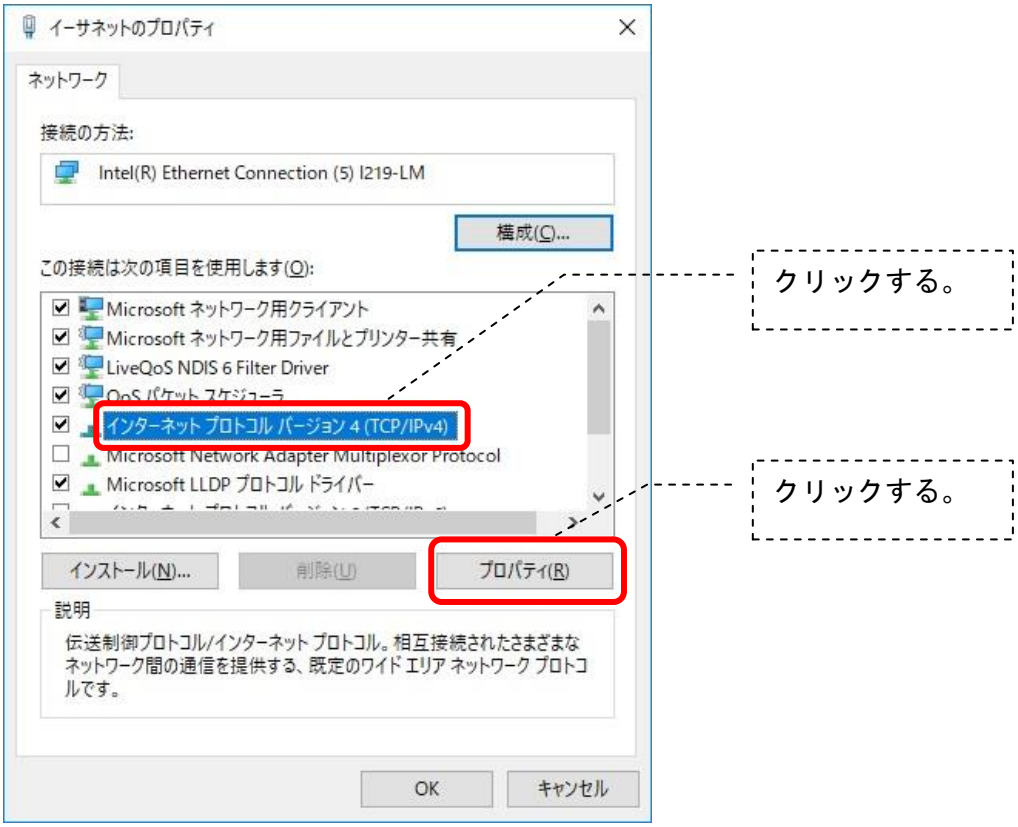
「ネットワークの状態」画面が表示されるので、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

「ネットワークと共有センター」画面が表示されるので、「イーサネット」をクリックします。

「イーサネットの状態」画面が表示されるので、「プロパティ」をクリックします。



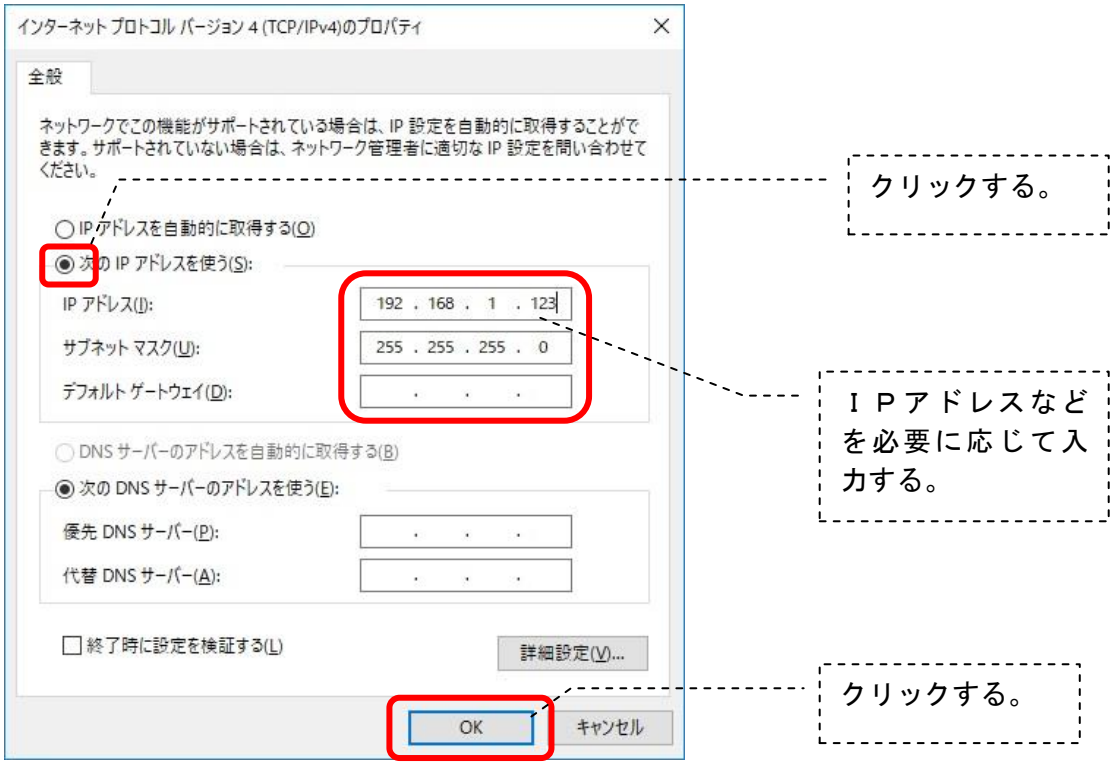
「イーサネットのプロパティ」画面が表示されるので、「インターネット　プロトコル　バージョン４(TCP/IPv4)」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。



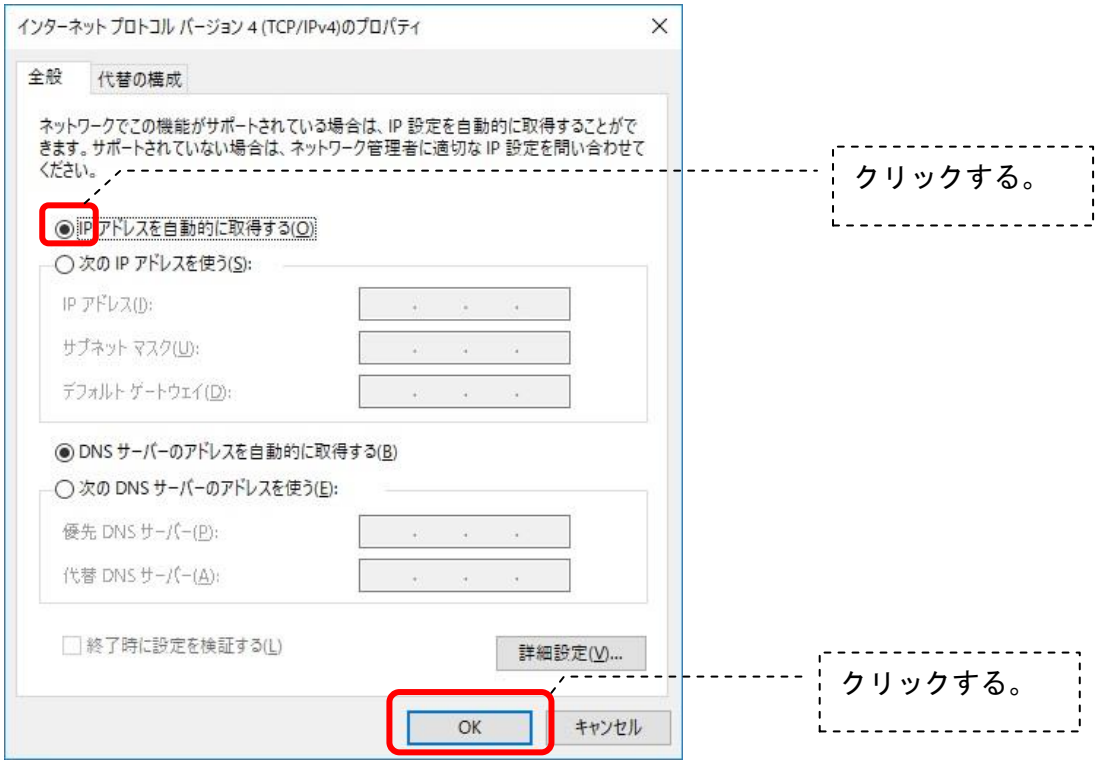
２．準備

「インターネット　プロトコル　バージョン４(TCP/IPv4)のプロパティ」画面が表示されるので、ＰＣのＩＰアドレスを固定設定またはＤＨＣＰで取得するか、ネットワークに応じた設定を行ってください。

●ＰＣのＩＰアドレスを固定設定にする場合



●ＰＣのＩＰアドレスをＤＨＣＰで取得する場合



※ここまでで開いた画面は「閉じる」ボタンなどで全て閉じてください。

手順②：SIPManager の起動

デスクトップ上に作成された本ソフトウェアのショートカットから起動します。
（インストール時に作成したフォルダから起動する場合は、
「C:¥NAKAYO」→「SIPManager.exe」を選択し、本ソフトウェアを起動させます。）

手順③：端末リストの準備

次に、本書「3 章　ＳＩＰ端末設定ツールの使い方」の説明にしたがって、「電話機検索」操作を行い、対象となる電話機の端末リストを表示させた後、各種操作を指定します。

おしらせ

●各種操作を行うには電話機を指定するために「端末リスト」を表示させる必要があります。

２.３　アンインストール

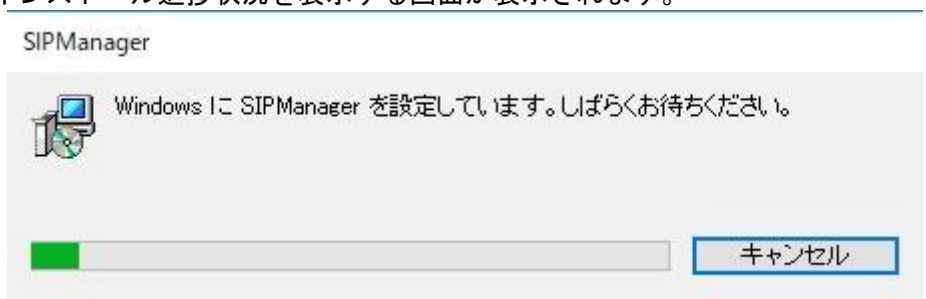
本ソフトウェアをアンインストールする場合は、次の手順で行います。

手順①：アンインストールの開始

「コントロールパネル」→「プログラムと機能」→「SIPManager」を選択して右クリックして、「アンインストール」をクリックします。

手順②：削除実行の確認

アンインストール進捗状況を表示する画面が表示されます。



お使いのＰＣによっては、アンインストール開始前に確認ダイアログボックスが表示されることがあります。その場合は「はい」をクリックしてください。アプリケーションの削除が終了すると、プログラムの一覧から「SIPManager」が削除されます。

手順③：不要データの削除

アンインストール作業を行っても、インストール先のフォルダと保存されたデータファイルは削除されません。必要に応じて削除してください。

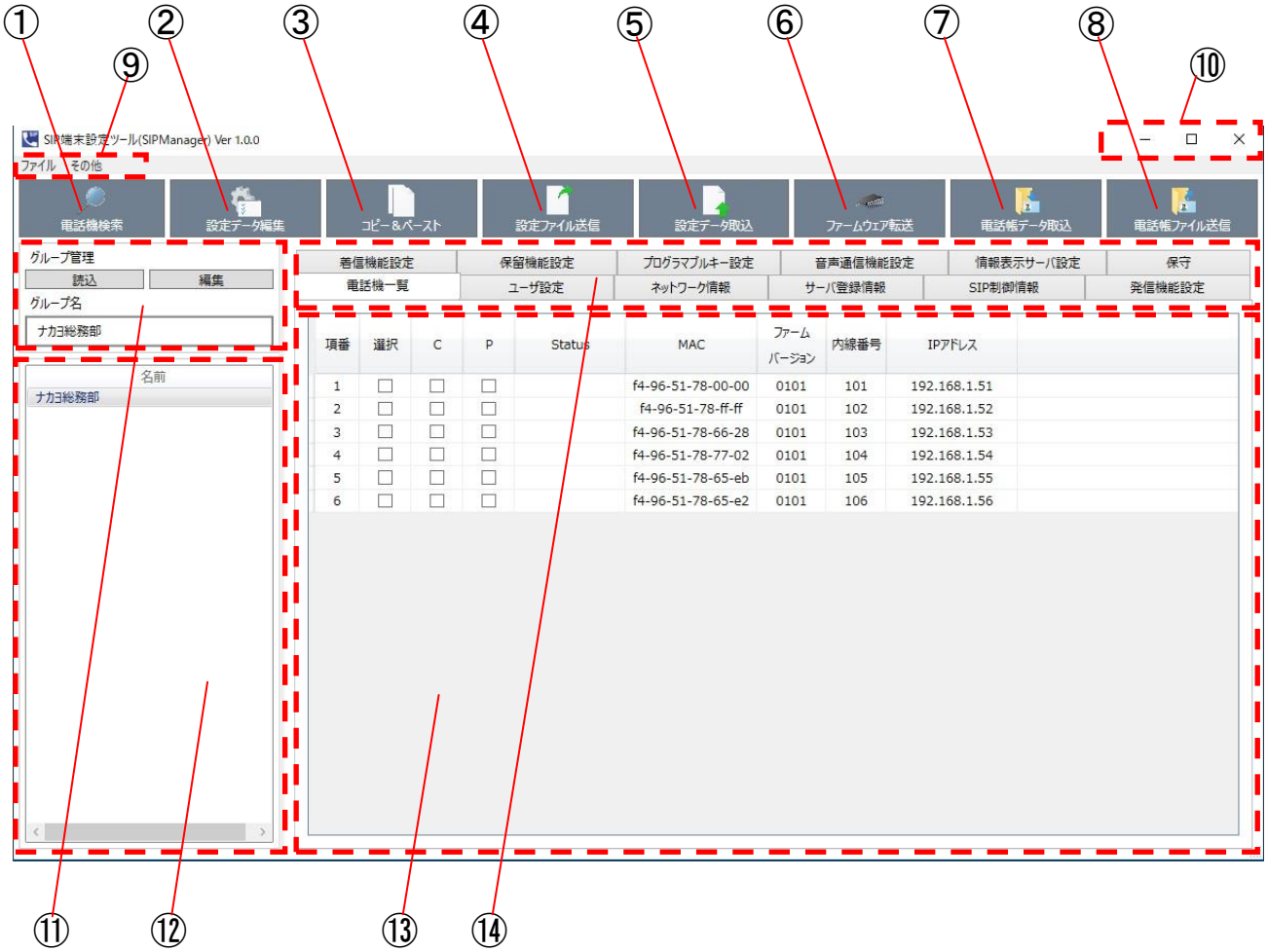
※ＰＣに保存された電話機の設定ファイル及び電話帳ファイルには、ユーザＩＤや電話帳データなど、個人情報に相当する内容が含まれていますので、取扱いに注意してください。

３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

ここでは、本ソフトウェアの基本的な操作方法について説明します。

３.１　操作画面と機能

本ソフトウェアを起動すると下のメイン画面が表示されます。各項の説明を参考に目的の作業に応じた操作を行います。



	機能名	機能説明
①	電話機検索	電話機を検索するボタンです。一覧表示にない電話機、ＩＰアドレスが変更になった電話機を検索することができます。
②	設定データ編集	電話機毎に設定項目をまとめて編集するときに使用するボタンです。
③	コピー＆ペースト	コピー元（１つ）とペースト先（複数）の電話機を選択し、コピーを実行するボタンです。
④	設定ファイル送信	本ソフトウェアで作成した設定ファイルを電話機に送信する際に使用します。
⑤	設定データ取込	電話機の設定データを取込む際に使用します。
⑥	ファームウェア転送	電話機のファームウェアを転送する際に使用します。
⑦	電話帳データ取込	電話機の電話帳データを取込む際に使用します。
⑧	電話帳ファイル送信	電話帳ファイルを送信する際に使用します。

次頁へ続く

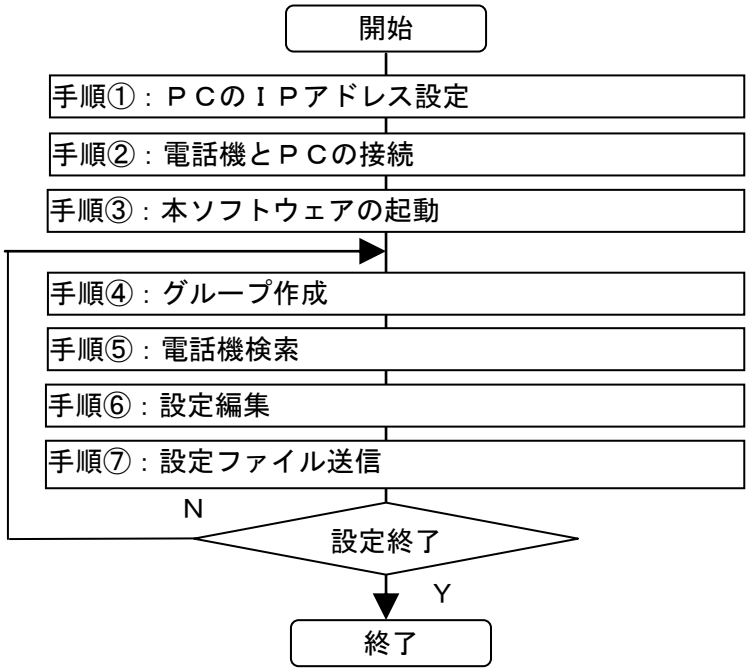
	機能名		機能説明
⑨	ファイル	保存	本ソフトウェアで編集した設定データを設定ファイルに保存するときに使用します。 ※本操作は、本ソフトウェアがＰＣに保存しますので、電話機へ反映されません。
		終了	本ソフトウェアを終了させることができます。
	その他	FTP 設定	FTP 接続時のパスワードを変更できます。
		バージョン情報	本ソフトウェアのバージョンを確認することができます。
⑩	画面ボタン	最小化ボタン	画面を最小化し、タスクバーに移行します。
		最大化、元に戻すボタン	画面を最大化（フル画面）や、元の大きさに戻すことができます。
		閉じるボタン	本ツールを終了させることができます。
⑪	グループ管理		編集ボタンにより、グループを作成、変更、削除を行うことができます。
⑫	グループ一覧		グループ管理で作成したグループを表示します。
⑬	一覧表示		「電話機検索」ボタンで検索した電話機を表示します。 本書では、一覧表示を端末リストと記載する場合があります。
⑭	設定項目タブ		各設定項目を区分ごとに表示します。

※お使いのＰＣのディスプレイ設定のテキスト、アプリ、その他項目のサイズの設定によっては一部の文字が表示されないことがあります。
ディスプレイ設定の画面上のテキストやその他項目のサイズの設定方法は下記によります。
「スタートボタン」→「設定」→「システム」→「ディスプレイ」→「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」
（ディスプレイ設定の画面上のテキストやその他項目のサイズの設定方法は各 OS によります。）

３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

３.２　初期設置時の設定をする(１台毎の設定)

ここでは、初期設置時の電話機に対して１台ずつ設定する方法について説明します。

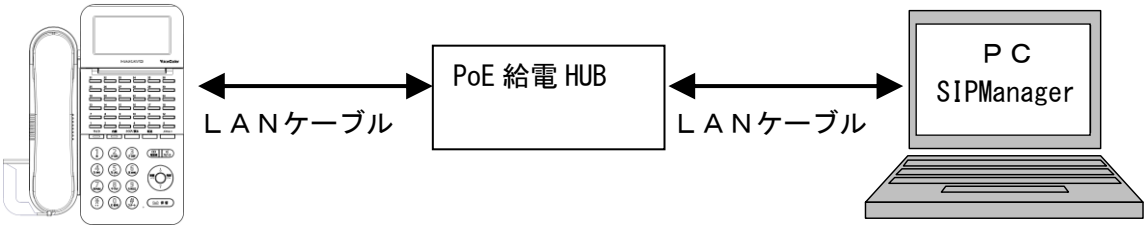


手順①：ＰＣのＩＰアドレス設定

予め「ＤＨＣＰクライアント」機能を「無効」にした電話機のＩＰアドレス初期値(192.168.1.50)と同じサブネット内となるように、ＰＣのＩＰアドレスを設定します。ＰＣのＩＰアドレス設定は、本書「2.2 章 ソフトウェアの起動」の「手順①：ＰＣのネットワーク接続」を参照してください。

手順②：電話機とＰＣの接続

設定する電話機のＬＡＮポートとＰＣのＬＡＮポートを PoE 給電 HUB に接続します。



手順③：本ソフトウェアの起動

デスクトップ上に作成された本ソフトウェアのショートカットから起動します。
インストール時に作成したフォルダから起動する場合は、本書「2.2 章 ソフトウェアの起動」の「手順②：SIPManager の起動」を参照してください。

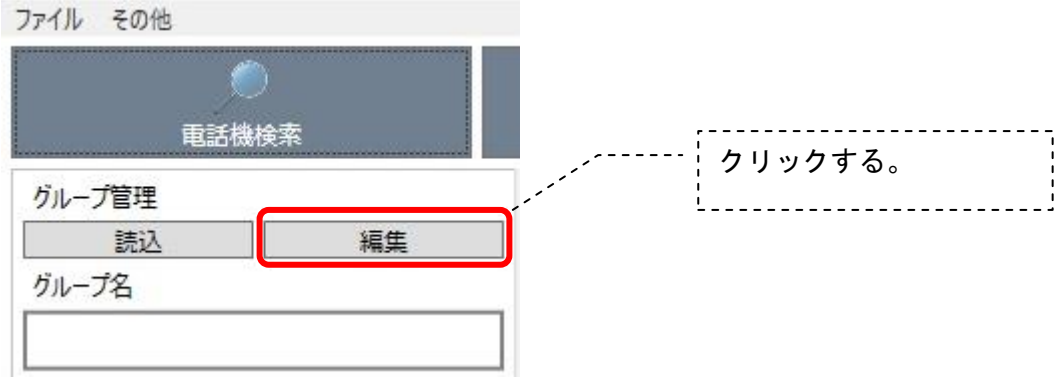
お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本ソフトウェアの本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

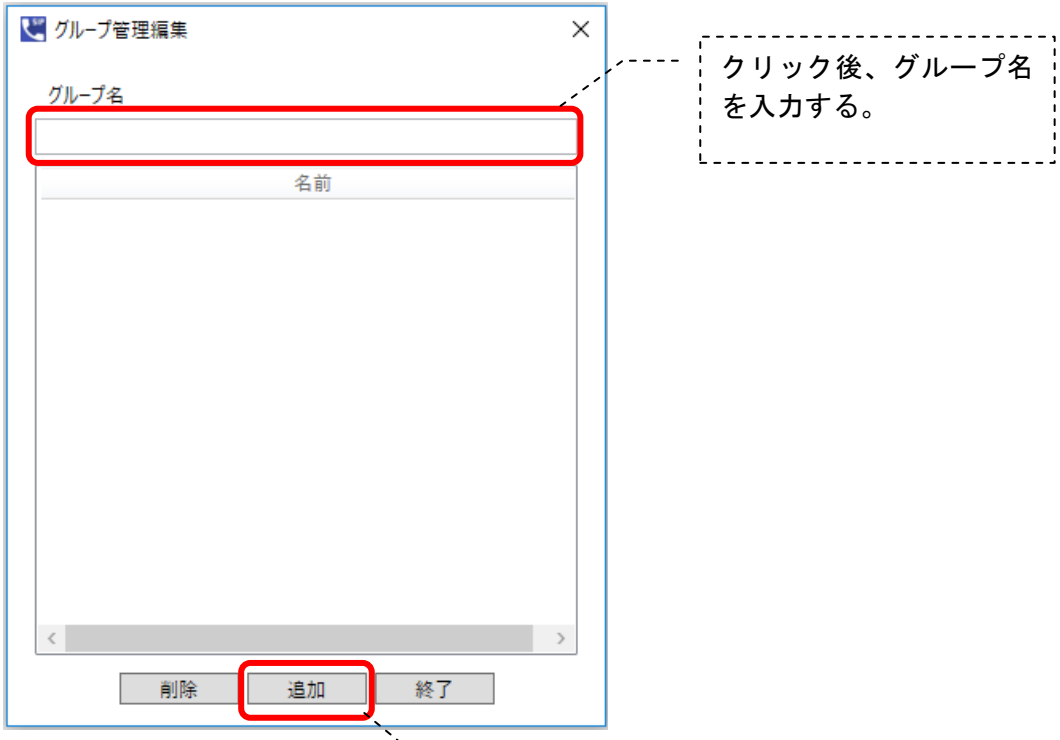
- ●ＰＣの有線ＬＡＮデバイスだけを有効にして使用してください。無線ＬＡＮデバイスは無効にしてお使いください。
- ●仮想マシン環境では、本ソフトウェアを使用しないでください。
- ●設定編集は、別途提供の電話機の「工事説明書」を確認してください。

手順④：グループ作成

(1) グループ管理で「編集」ボタンをクリックすると「グループ管理編集」画面が開きます。



(2) グループ名の入力欄に任意のグループ名を入力します。



(3)「追加」ボタンをクリックします。

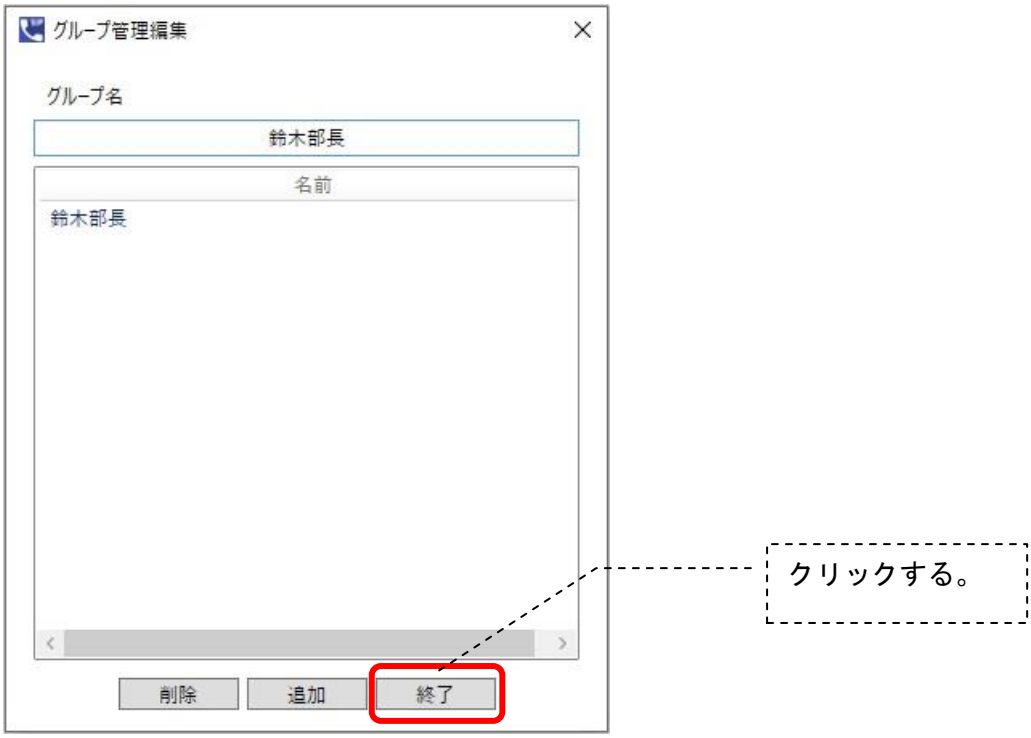
お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本ソフトウェアの本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

●グループ作成時のグループ名は、文字種「スペース」のみでグループ作成をしないでください。

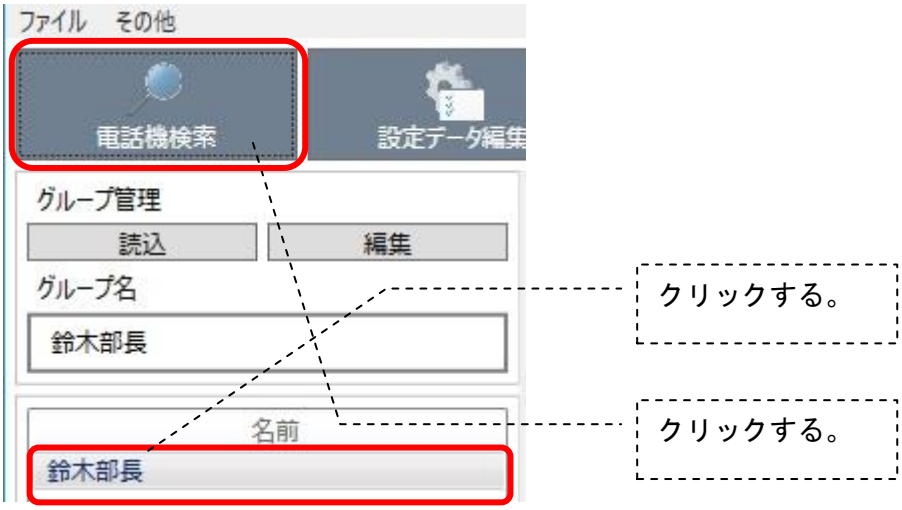
下記は、グループ名の入力欄に「鈴木部長」と入力し、「追加」ボタンをクリックした一例の画面です。

(3)「終了」ボタンをクリックし、「グループ管理編集」画面を閉じます。

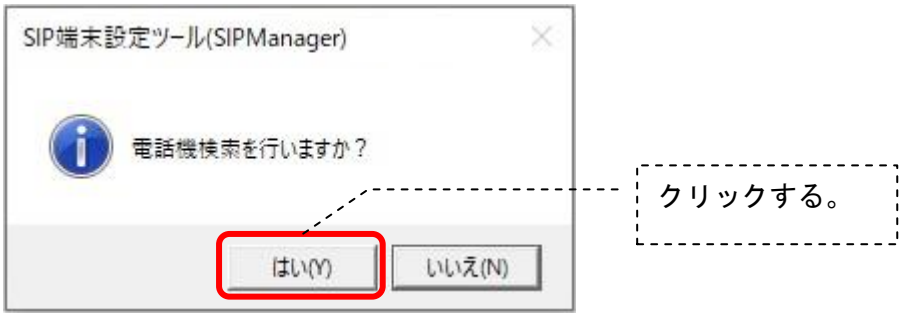


手順⑤：電話機検索

(1) グループ管理で「鈴木部長」をクリックし、「電話機検索」ボタンをクリックします。

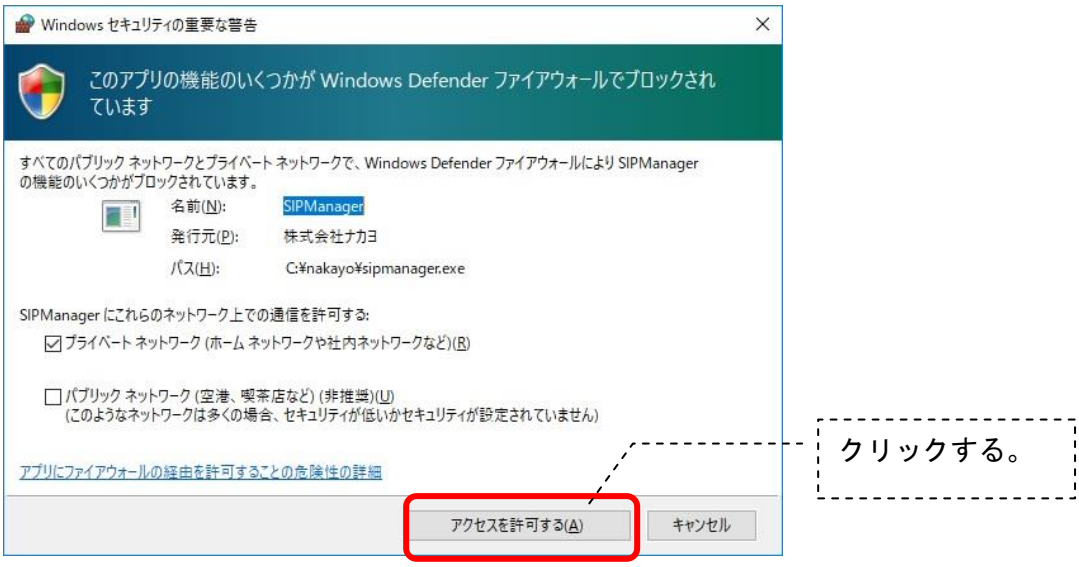


(2)「電話機検索」画面が開き、「はい」ボタンをクリックすると電話機検索が始まります。



電話機検索中は、次の画面が表示されます。

ＰＣのＯＳにより、次の画面を表示する場合があります。
「アクセス許可する」をクリックします。

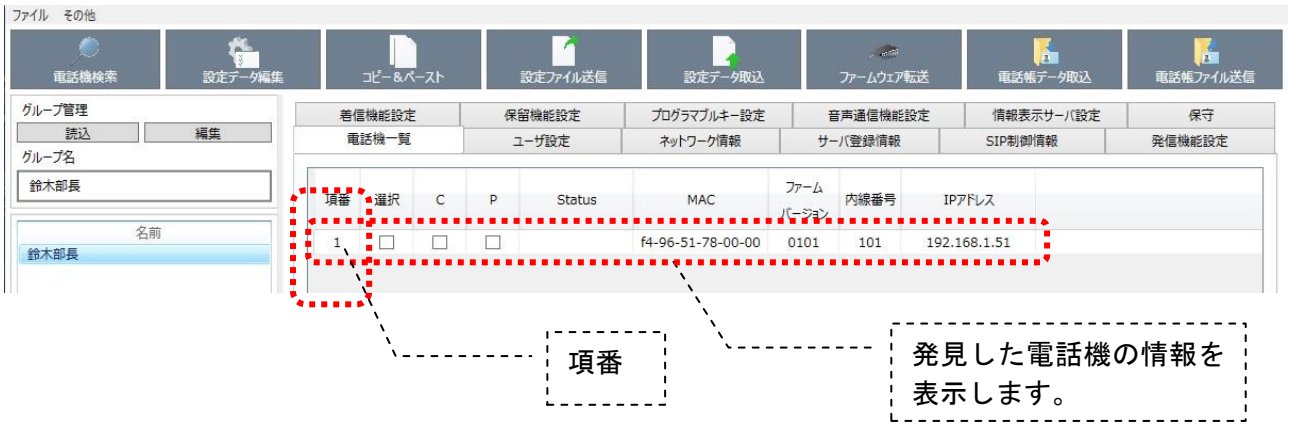


３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

電話機検索が終了すると、電話機情報取得(設定データ取込※１)をして表示します。
※電話機を発見できない場合は、本書「4.１章　トラブルシュート」をご確認ください。

電話機検索をする前の画面表示例

電話機検索をして、電話機を発見できた画面表示例



おしらせ

※１、設定ファイルは、本ソフトウェアをインストールしたディレクトリの”Data”フォルダ
(例 C:¥NAKAYO¥Group¥鈴木部長¥Data)に保存されます。
ファイル名は、”system_xxx.txt”として保存されます。
xxx には項番が保存されます。(例 項番１の場合、system_001.txt)

３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

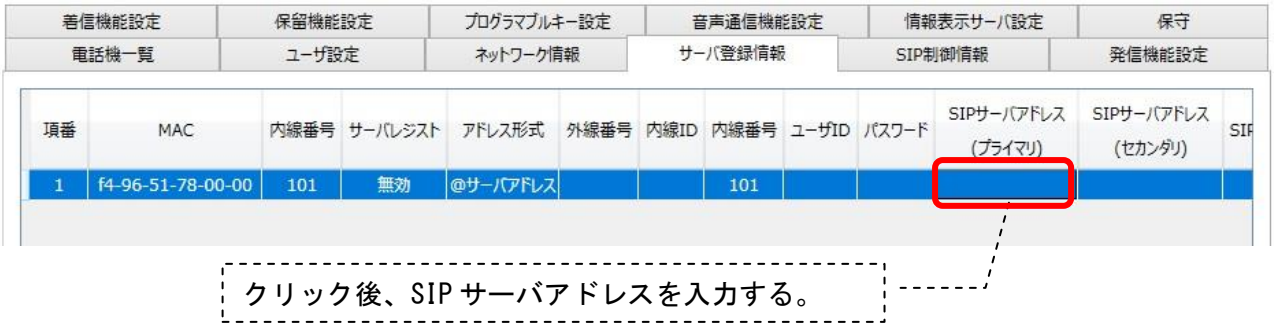
手順⑥：設定編集

ここでは一例で、SIP サーバのアドレスを設定する方法を説明します。

(1)「サーバ登録情報」タブをクリックします。

(2)「一覧表示」が次の画面のようになった後、「SIP サーバアドレス（プライマリ）」の入力欄をクリックします。

(3)「一覧表示」が次の画面のようになった後、「SIP サーバアドレス（プライマリ）」の入力欄に SIP サーバアドレスを入力し、ＰＣキーボードの ENTER キーを押します。

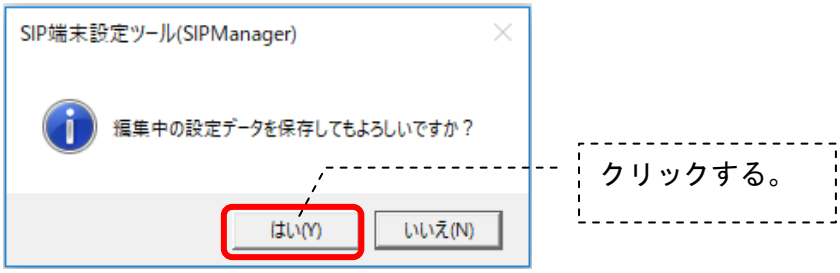


３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

「一覧表示」が次の画面のようになります。※１

(4)本ソフトウェアが管理する設定ファイル(system_xxx.txt)に反映(保存)します。

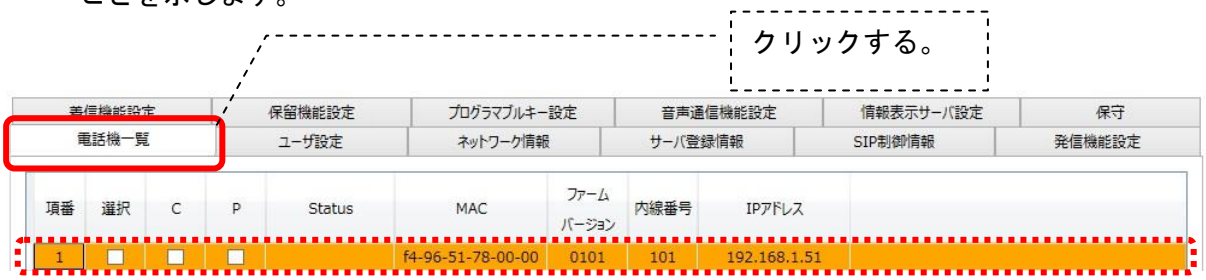
「保存」をクリックすると確認画面を表示しますので、「はい」をクリックしてください。



「一覧表示」が次の画面のようになります。

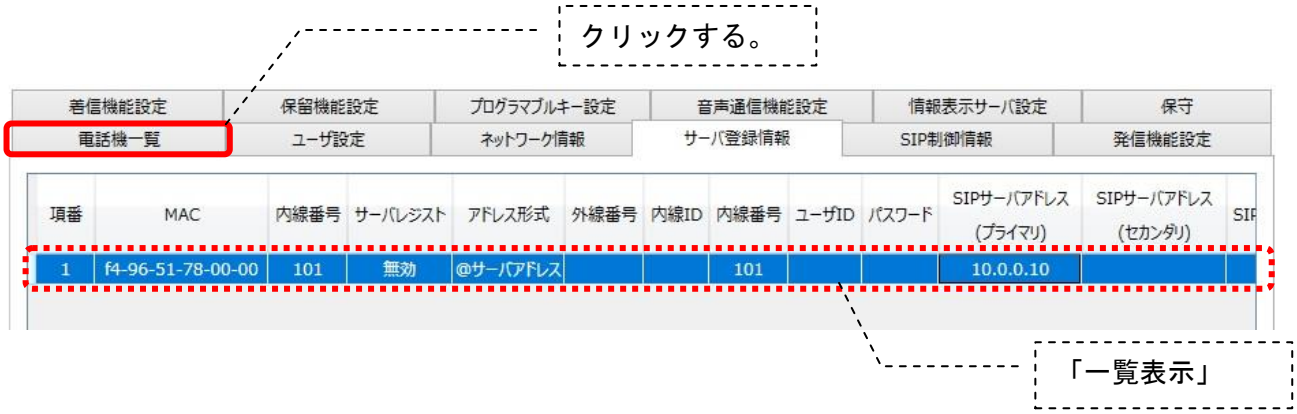
おしらせ

※１、電話機が一台の場合、「電話機一覧」タブで未反映であることを確認できます。
オレンジ色は、本ソフトウェアが管理する設定ファイル(system_xxx.txt)に未反映であることを示します。



手順⑦：設定ファイル送信

(1)「電話機一覧」タブをクリックします。※１



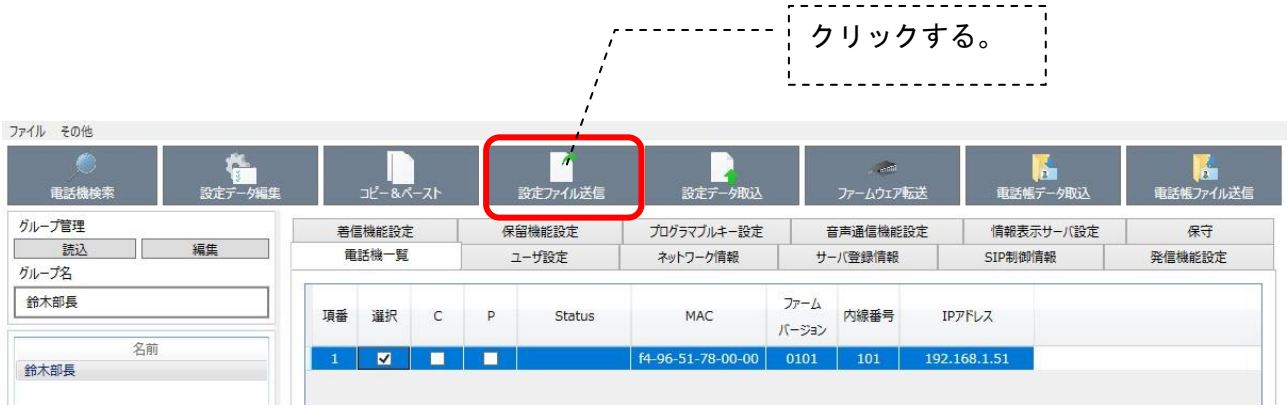
(2)「一覧表示」が次の画面のようになり、「選択」をクリック（チェック）します。

「選択」にチェックがつきます。

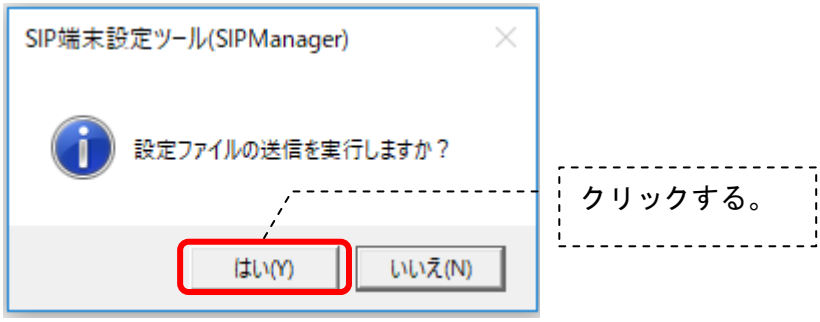
おしらせ

※１、「電話機一覧」のタブをクリックせずに「設定ファイル送信」ボタンをクリックすると
エラー画面を表示しますので、「OK」をクリックしてください。

(3)「設定ファイル送信」ボタンをクリックします。※１



「設定ファイル送信」ボタンをクリックすると確認画面を表示しますので、「はい」をクリックしてください。



進捗状況を表示する画面が表示されます。

おしらせ

※１、設定ファイル(system_xxx.txt)に反映(保存)せずに「設定ファイル送信」ボタンをクリックすると確認画面を表示しますので、「はい」また「いいえ」をクリックしてください。

３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

設定ファイルを送信すると、「Status」に送信結果を表示します。
「Status」に”設定送信:成功”が表示されることを確認してください。※１

設定ファイルを送信し、送信が成功した画面表示例

設定ファイルを送信し、送信が失敗した画面表示例

以上で、１台の電話機に対するSIPサーバのアドレス設定は完了です。
更に他の設定編集を行う場合は、手順⑥～⑦の操作を繰返してください。
更に他の電話機に設定を行う場合は、手順④～⑦の操作を繰返してください。

おしらせ

※１、「Status」に”設定送信:成功”と表示されても、正しく設定が反映されない場合は、本書の「4.１章　トラブルシュート」をご確認ください。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本ソフトウェアの本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

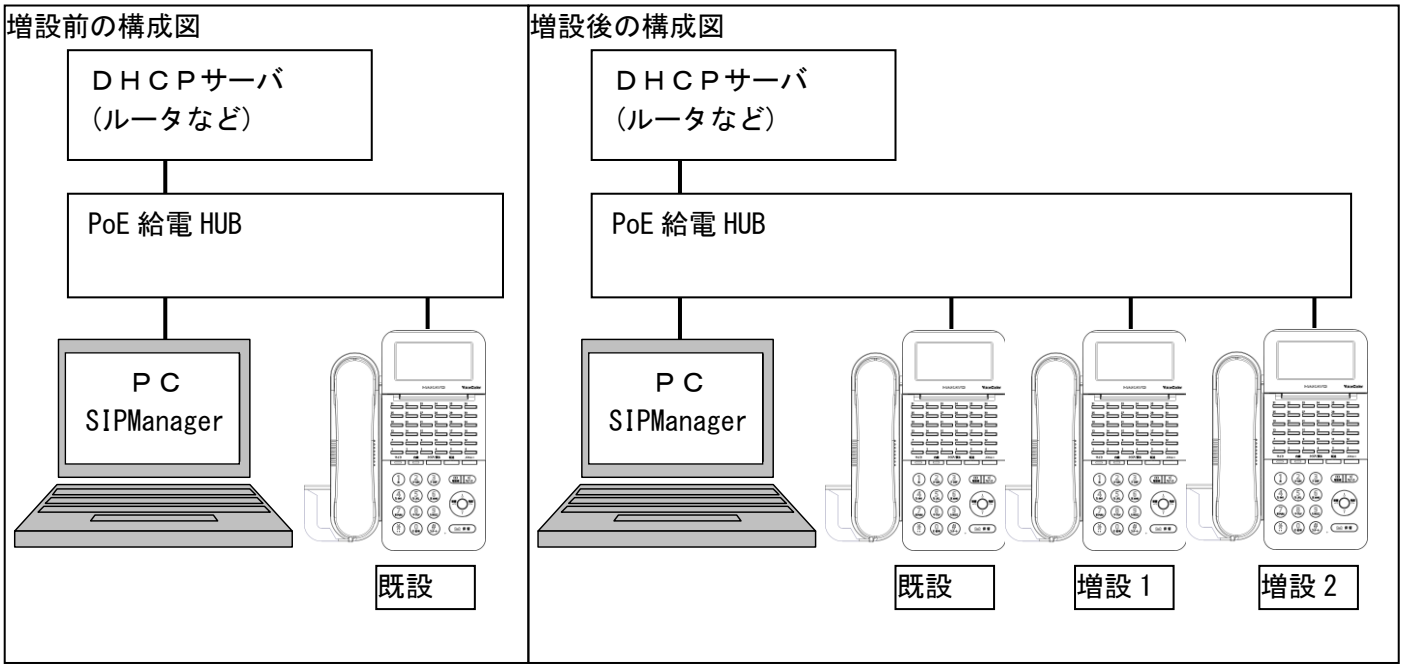
●ファイル送信中や送信終了直後に、電話機を操作したり、電源を抜いたりしないでください。
本ソフトウェア上で”成功”が表示されても、電話機内部のメモリへの書込みが行われています。
ケーブルや電源を抜く場合、電話機が再起動され、待機状態になったことを確認してください。
●誤った設定をすると、正常に動作できなくなることがありますので、設定ファイルの編集を行う際には、十分注意してください。
●誤って同じ設定ファイルを複数の電話機に送信してしまうと、ＩＰアドレスや電話番号等が同じ値となり、正常に動作できなくなることがありますので、注意してください。

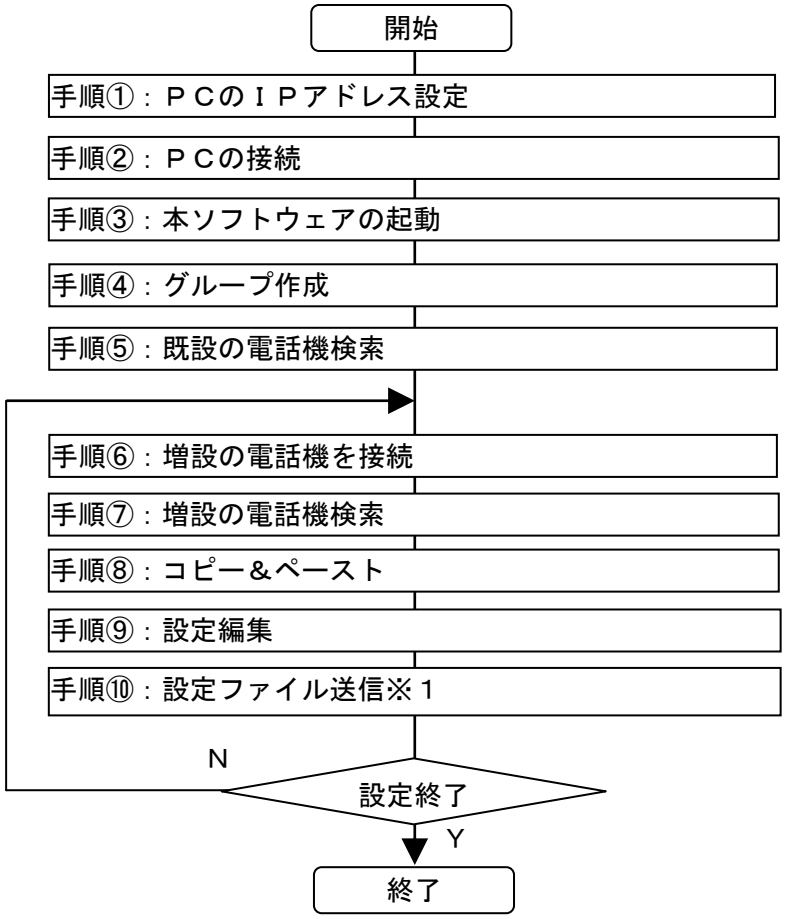
３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

３.３　既設の電話機の設定ファイルをコピーして電話機を増設する(複数台の一括設定)

ここでは、既に設置済の電話機の設定ファイルをコピーして複数台の電話機をまとめて増設する方法について説明します。

一例として、ＤＨＣＰでＩＰアドレスを取得した既設電話機（１台）の設定ファイルをコピーして２台の電話機を増設する手順を説明します。





※１
多数の電話機を設定する場合、PoE 給電 HUB のポート数などを考慮し、複数回に分けて行います。（１回の設定ファイル送信で行う電話機の台数は５０台までを目安にしてください。）

３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

手順①：ＰＣのＩＰアドレス設定

ＰＣのＩＰアドレスをＤＨＣＰで取得する設定にします。

ＰＣのＩＰアドレス設定は、本書の「2.2 章 ソフトウェアの起動」の「手順①：ＰＣのネットワーク接続」を参照してください。

手順②：ＰＣの接続

ＰＣを既設の電話機が接続された PoE 給電 HUB に接続します。

手順③：本ソフトウェアの起動

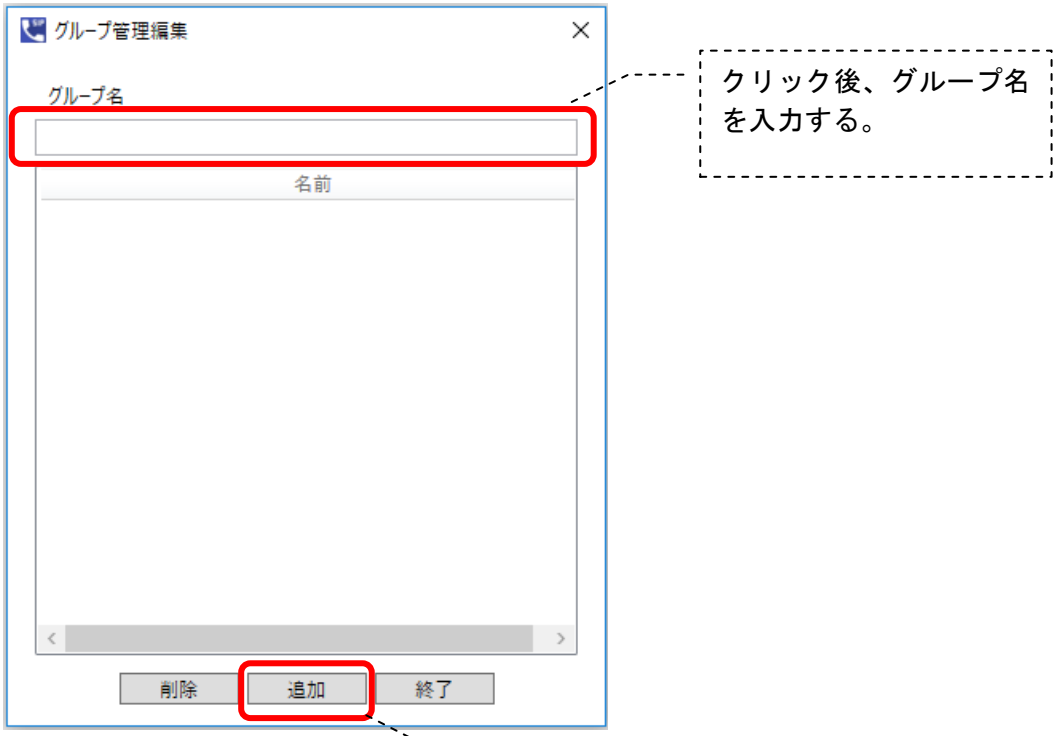
デスクトップ上に作成された本ソフトウェアのショートカットから起動します。

インストール時に作成したフォルダから起動する場合は、本書の「2.2 章 ソフトウェアの起動」の「手順②：SIPManager の起動」を参照してください。

手順④：グループ作成

(1) グループ管理で「編集」ボタンをクリックすると「グループ管理編集」画面が開きます。

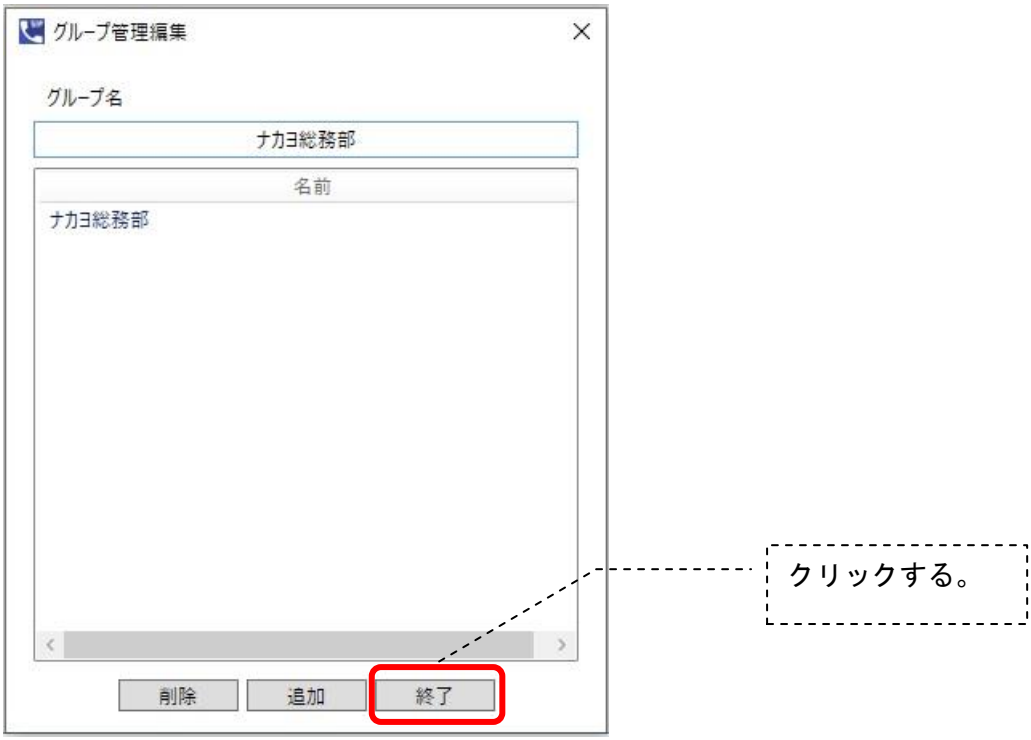
(2) グループ名の入力欄に任意のグループ名を入力します。



(3)「追加」ボタンをクリックします。

下記は、グループ名の入力欄に「ナカヨ総務部」と入力し、「追加」ボタンをクリックした一例の画面です。

(4)「終了」ボタンをクリックし、「グループ管理編集」画面を閉じます。



お願い

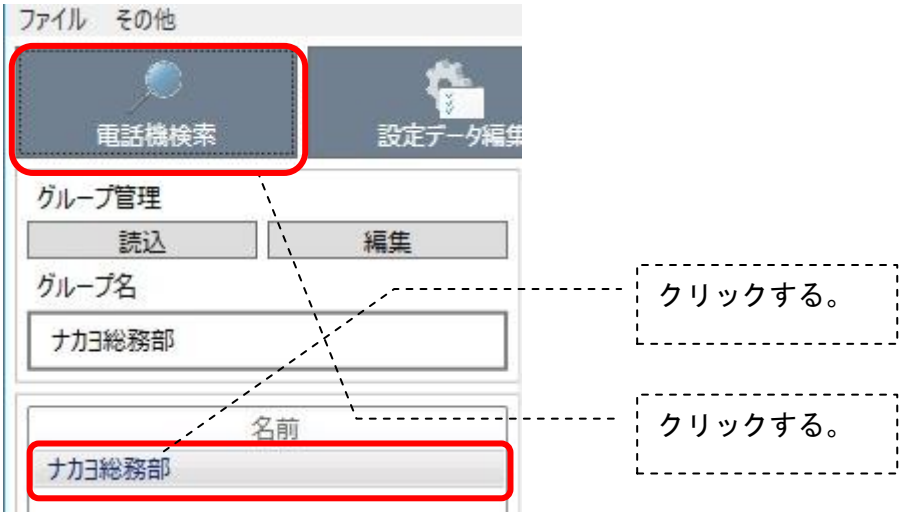
次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本ソフトウェアの本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

●グループ作成時のグループ名は、文字種「スペース」のみでグループ作成をしないでください。

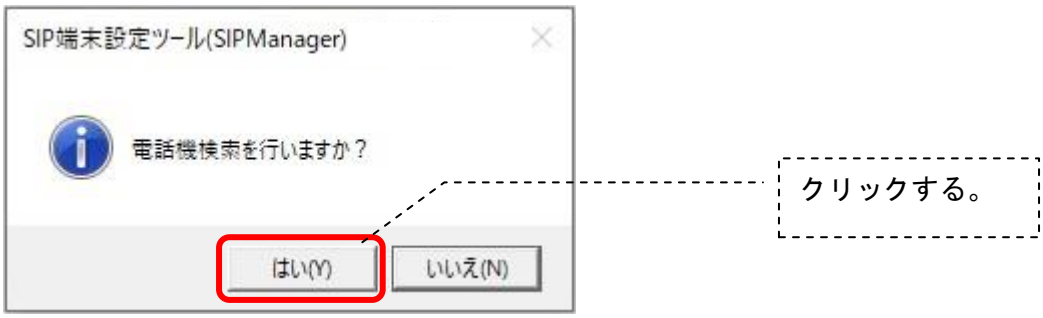
３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

手順⑤：既設の電話機検索

(1) グループ管理で「ナカヨ総務部」をクリックし、「電話機検索」ボタンをクリックします。

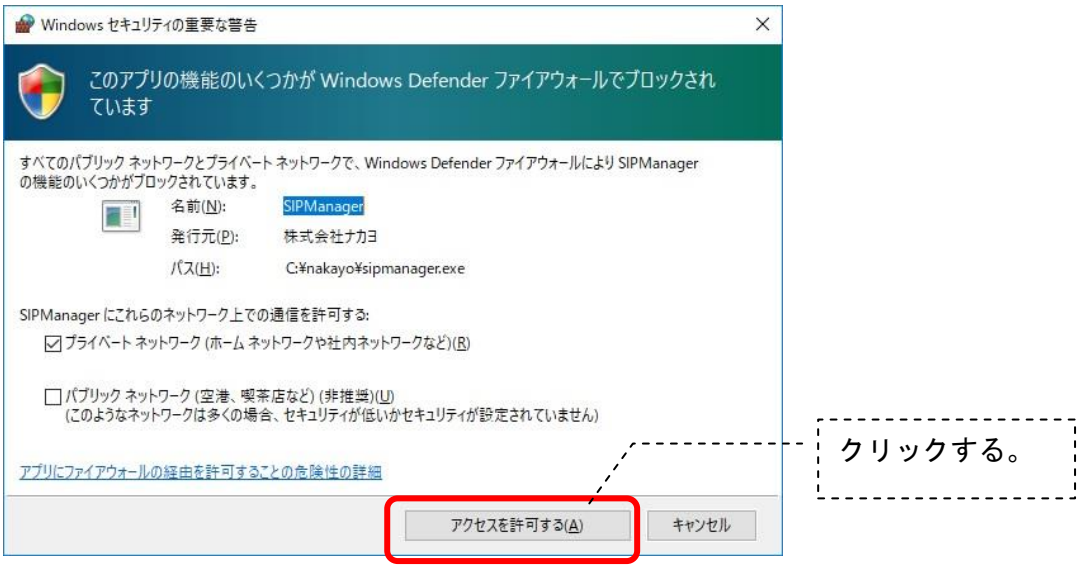


(2)「電話機検索」画面が開き、「はい」ボタンをクリックすると電話機検索が始まります。



電話機検索中は、次の画面が表示されます。

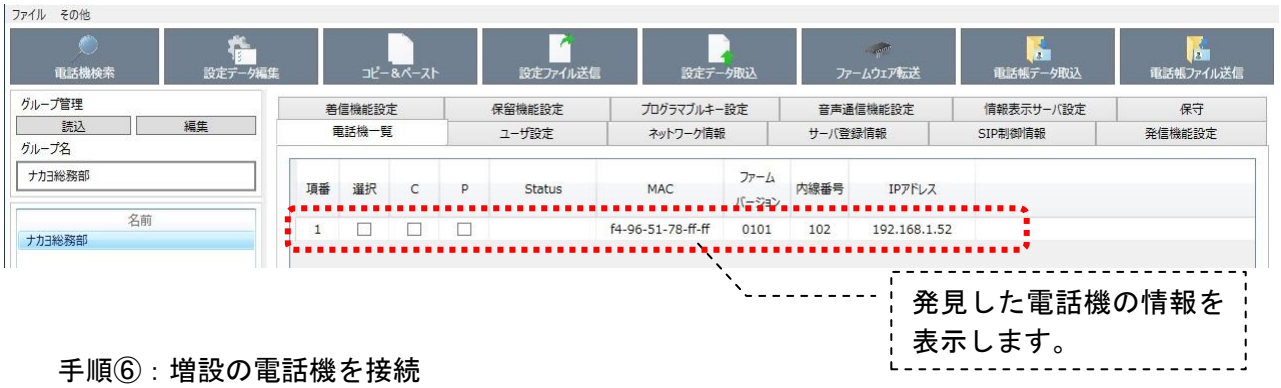
ＰＣのＯＳにより、次の画面を表示する場合があります。
「アクセス許可する」をクリックします。



３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

既設の電話機検索が終了すると電話機情報取得(設定データ取込)をして表示します。
※電話機を発見できない場合は、本書「4.1章　トラブルシュート」をご確認ください。

電話機検索をして、電話機を発見できた画面表示例



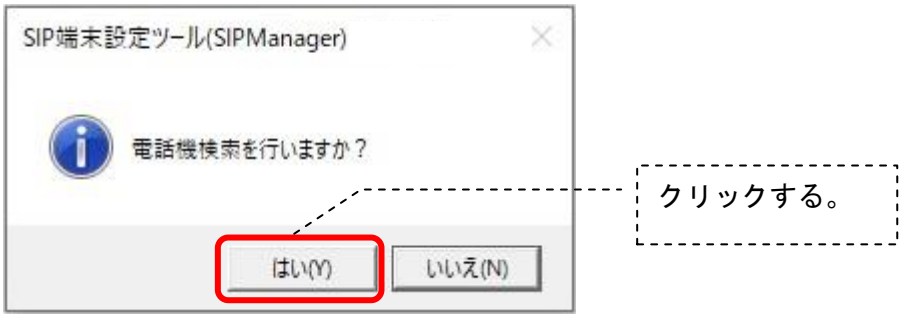
手順⑥：増設の電話機を接続

増設の電話機を既設の電話機が接続された PoE 給電 HUB に接続します。
増設の電話機が起動完了し、ＤＨＣＰでＩＰアドレスを取得したことを確認してください。

手順⑦：増設の電話機検索

(1)「電話機検索」ボタンをクリックします。

(2)「電話機検索」画面が開き、「はい」ボタンをクリックすると電話機検索が始まります。

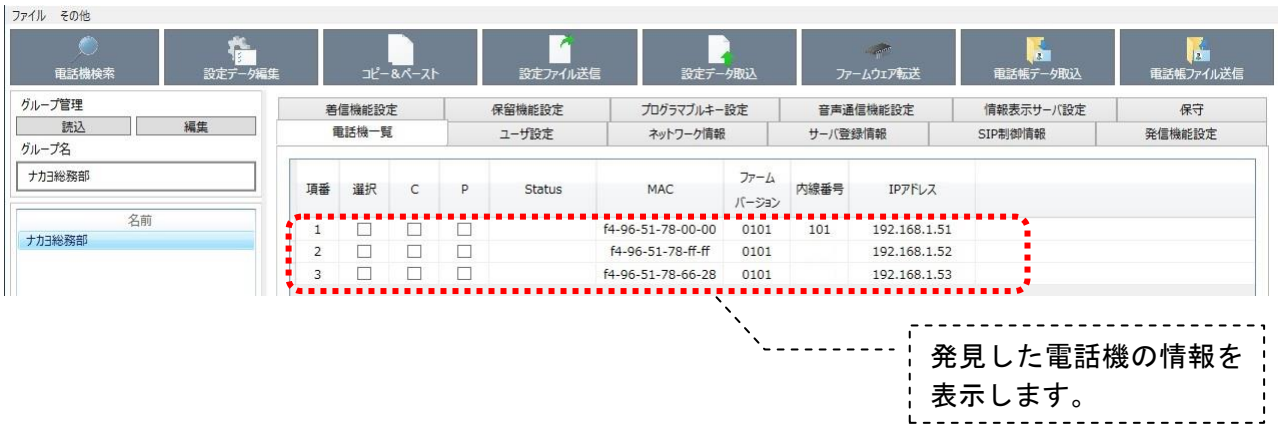


電話機検索中は、次の画面が表示されます。

３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

電話機検索が終了すると、電話機情報取得（設定データ取込）をして表示します。
※電話機を発見できない場合は、本書「4.１章　トラブルシュート」をご確認ください。

電話機検索をして、電話機を発見できた画面表示例



手順⑧：コピー＆ペースト
既設の電話機の設定をコピー元として指定し、増設の電話機をペースト先として設定します。

(1) コピー元の指定
「Ｃ」列のコピー元チェックボックスをクリック（チェック）します。

コピー元チェックボックスにチェックがつきます。

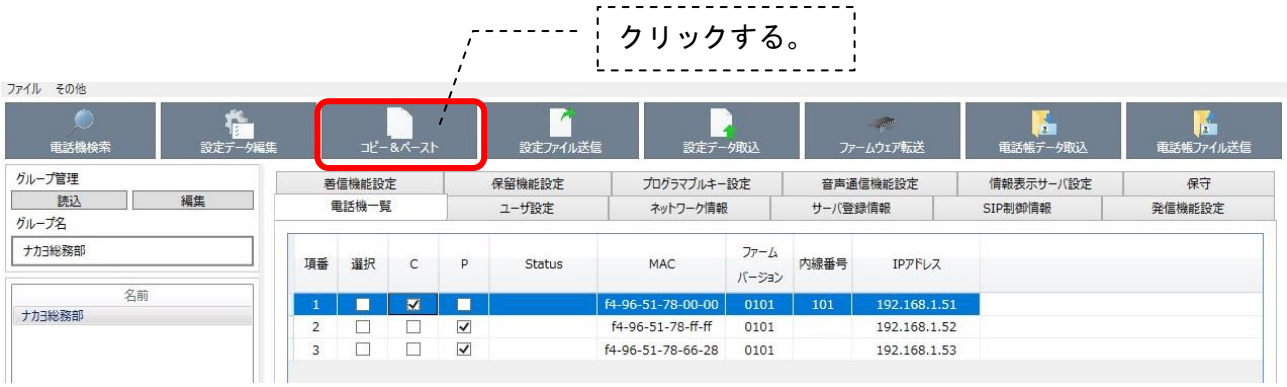
(2) ペースト先の指定

「Ｐ」列欄をクリックします。※個別にチェックすることもできます。

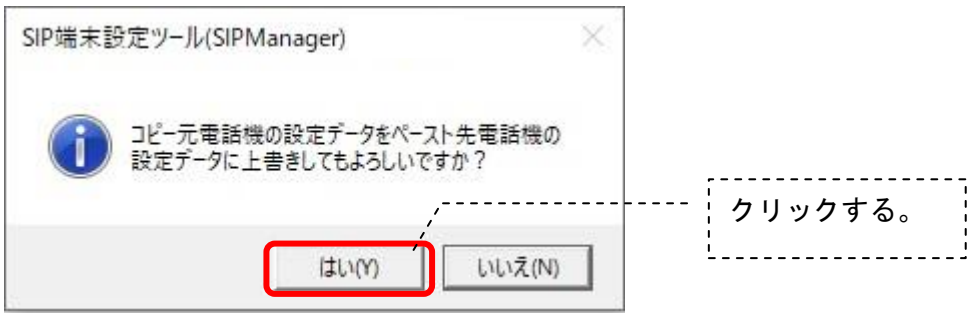
コピー元以外の全てのチェックボックスにチェックがつきます。

(3) ペースト実施

「コピー＆ペースト」ボタンをクリックします。



「コピー＆ペースト」ボタンをクリックすると確認画面を表示しますので、「はい」をクリックしてください。



３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

「一覧表示」が次の画面のようになります。※オレンジ色は、本ソフトウェアが管理する設定ファイル(system_xxx.txt)に未反映であることを示します。

(4) ペースト確認

ペーストされたことを確認します。

ここでは、一例で「サーバ登録情報」の設定がペーストされたことを確認します。

予めコピー元の設定を十分確認してください。

ペースト前の「サーバ登録情報」画面表示例

ペースト後の「サーバ登録情報」画面表示例

内線番号とＩＰアドレス以外をペーストします。※１

おしらせ

※１、内線番号とＩＰアドレスは、コピー対象外です。

手順⑨：設定編集

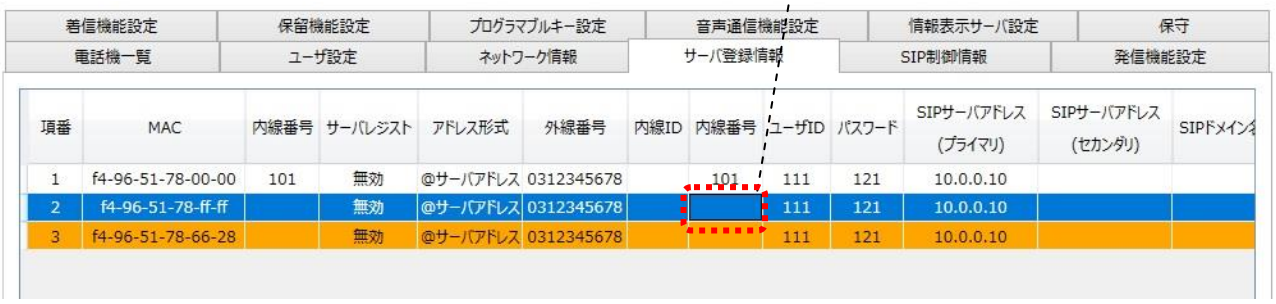
ここでは一例で、内線番号を設定する方法を説明します。

(1)「内線番号」入力欄をクリックします。

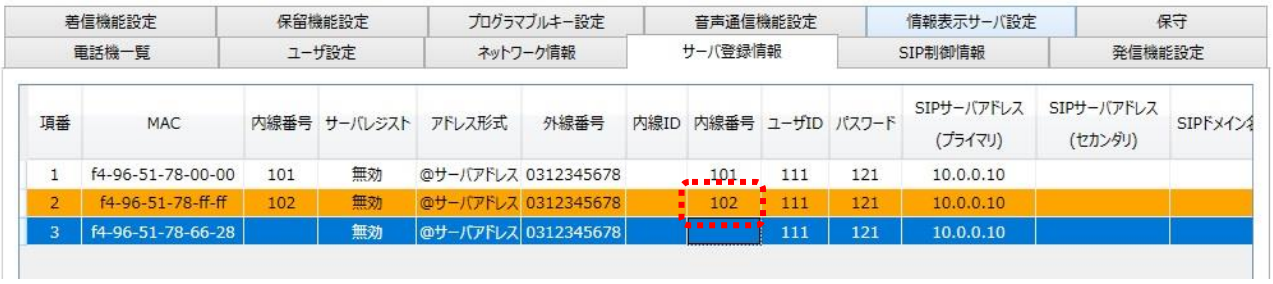
クリックする。

「一覧表示」が次の画面になった後、「内線番号」入力欄に任意の内線番号を入力し、ＰＣキーボードの ENTER キーを押します。※１

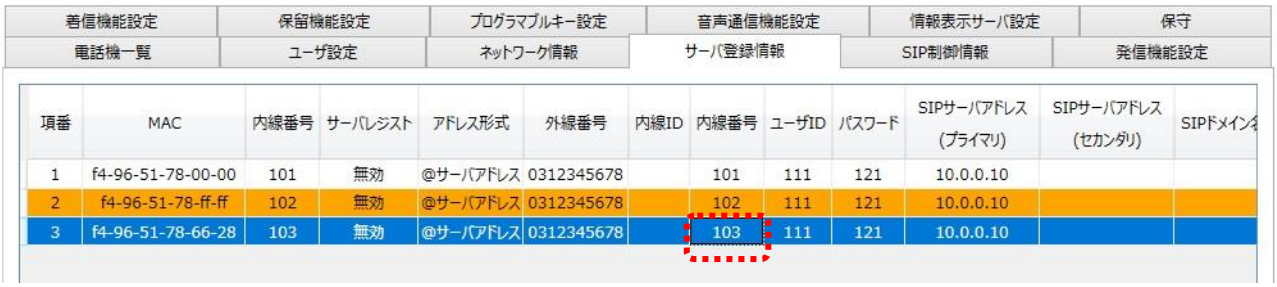
内線番号を入力する。



「一覧表示」が次の画面のようになります。



続けて、別の電話機の内線番号を入力します。

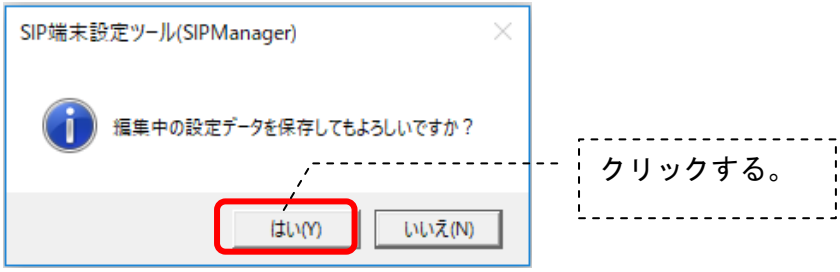


おしらせ

※１、選択した行の下に別の電話機の行がある場合は、ＰＣキーボードの ENTER キーを押した後、選択行が下の行に移動します。

(2)本ソフトウェアが管理する設定ファイル(system_xxx.txt)に反映(保存)します。

「保存」をクリックすると確認画面を表示しますので、「はい」をクリックしてください。



「一覧表示」が次の画面のようになります。※オレンジ色から通常の色になり、本ソフトウェアが管理する設定ファイル(system_xxx.txt)に反映されたことを示します。

項番	MAC	内線番号	サーバレジスト	アドレス形式	外線番号	内線ID	内線番号	ユーザID	パスワード	SIPサーバアドレス(プライマリ)	SIPサーバアドレス(セカンダリ)	SIPドメイン名
1	f4-96-51-78-00-00	101	無効	@サーバアドレス	0312345678		101	111	121	10.0.0.10		
2	f4-96-51-78-ff-ff	102	無効	@サーバアドレス	0312345678		102	111	121	10.0.0.10		
3	f4-96-51-78-66-28	103	無効	@サーバアドレス	0312345678		103	111	121	10.0.0.10		

３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

手順⑩：設定ファイル送信

(1)「電話機一覧」タブをクリックします。※１

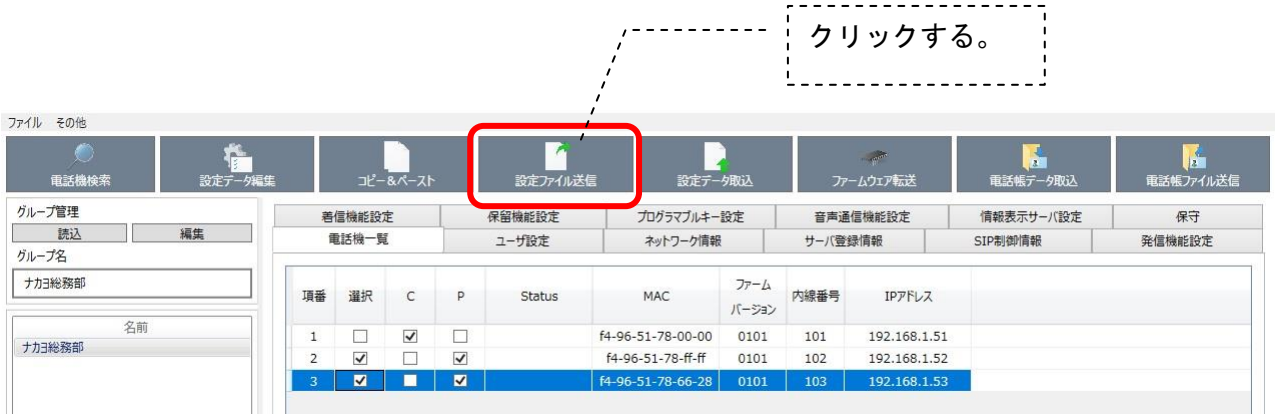
(2)「一覧表示」が次の画面のようになり、「選択」をクリック（チェック）します。

「選択」にチェックがつきます。

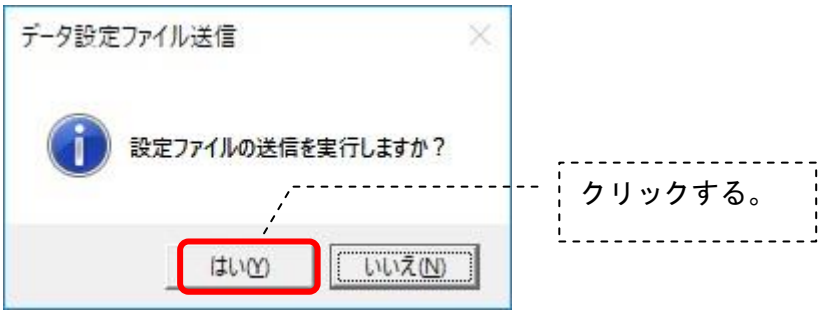
おしらせ

※１、「電話機一覧」のタブをクリックせずに「設定ファイル送信」ボタンをクリックすると
エラー画面を表示しますので、「OK」をクリックしてください。

(3)「設定ファイル送信」ボタンをクリックします。※１



「設定ファイル送信」ボタンをクリックすると確認画面を表示しますので、「はい」をクリックしてください。



進捗状況を表示する画面が表示されます。

おしらせ

※１、設定ファイル(system_xxx.txt)に反映(保存)せずに「設定ファイル送信」ボタンをクリックすると確認画面を表示しますので、「はい」また「いいえ」をクリックしてください。

３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

設定ファイルを送信すると、「Status」に送信結果を表示します。
「Status」に”設定送信:成功”が表示されることを確認してください。※１

設定ファイルを送信し、送信が成功した画面表示例

設定ファイルを送信し、送信が失敗した画面表示例

以上で、既設の電話機の設定ファイルをコピーして電話機を増設する設定方法は完了です。
更に他の電話機を増設する場合は、手順⑥～⑩の操作を繰返してください。

おしらせ

※１、設定ファイル(system_xxx.txt)に反映(保存)せずに「設定ファイル送信」ボタンをクリックすると確認画面を表示しますので、「はい」また「いいえ」をクリックしてください。

お願い

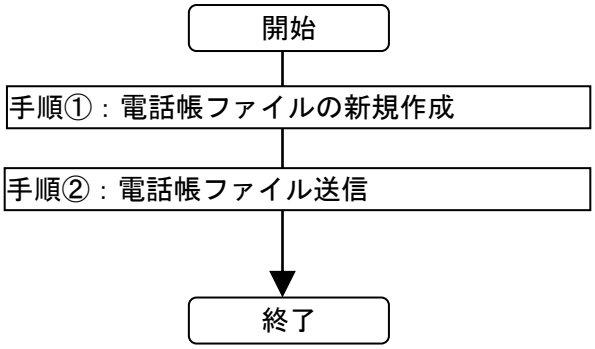
次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本ソフトウェアの本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

●ファイル送信中や送信終了直後に、電話機を操作したり、電源を抜いたりしないでください。
本ソフトウェア上で”成功”が表示されても、電話機内部のメモリへの書込みが行われています。
ケーブルや電源を抜く場合、電話機が再起動され、待機状態になったことを確認してください。
●誤って同じ設定ファイルを複数の電話機に送信してしまうと、ＩＰアドレスや電話番号等が同じ値となり、正常に動作できなくなることがありますので、注意してください。

３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

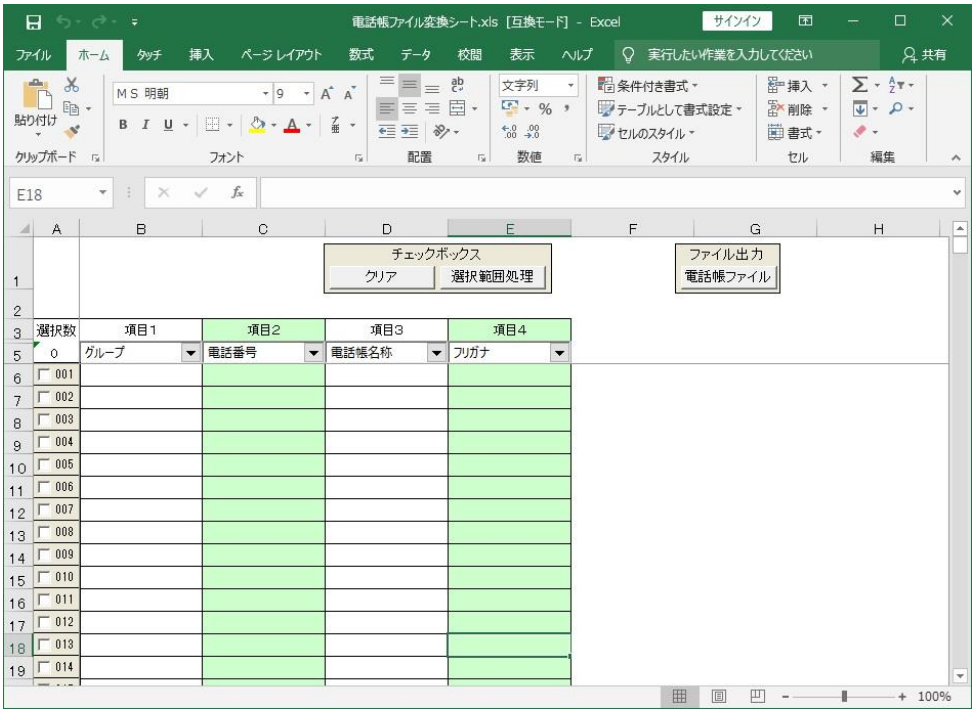
３.４　電話帳ファイルを新規作成して電話機に送信

ここでは、電話帳ファイルを新規作成して電話機に送信する方法について説明します。
予め本ソフトウェアで、電話機検索が完了していることを前提に説明します。
またMicrosoft Office (Microsoft Excel)が予めインストールされている必要があります。



手順①：電話帳ファイルの新規作成

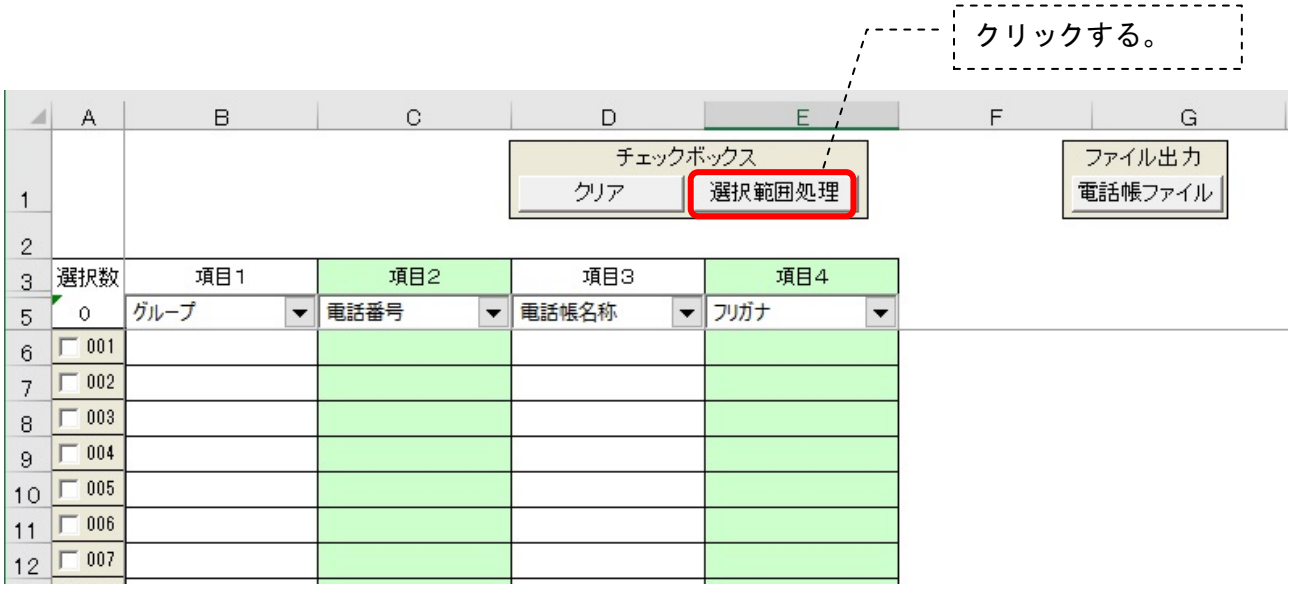
(1)本ソフトウェアが圧縮されたファイル内(zip)の「電話帳ファイル変換シート.xls」を開きます。※１



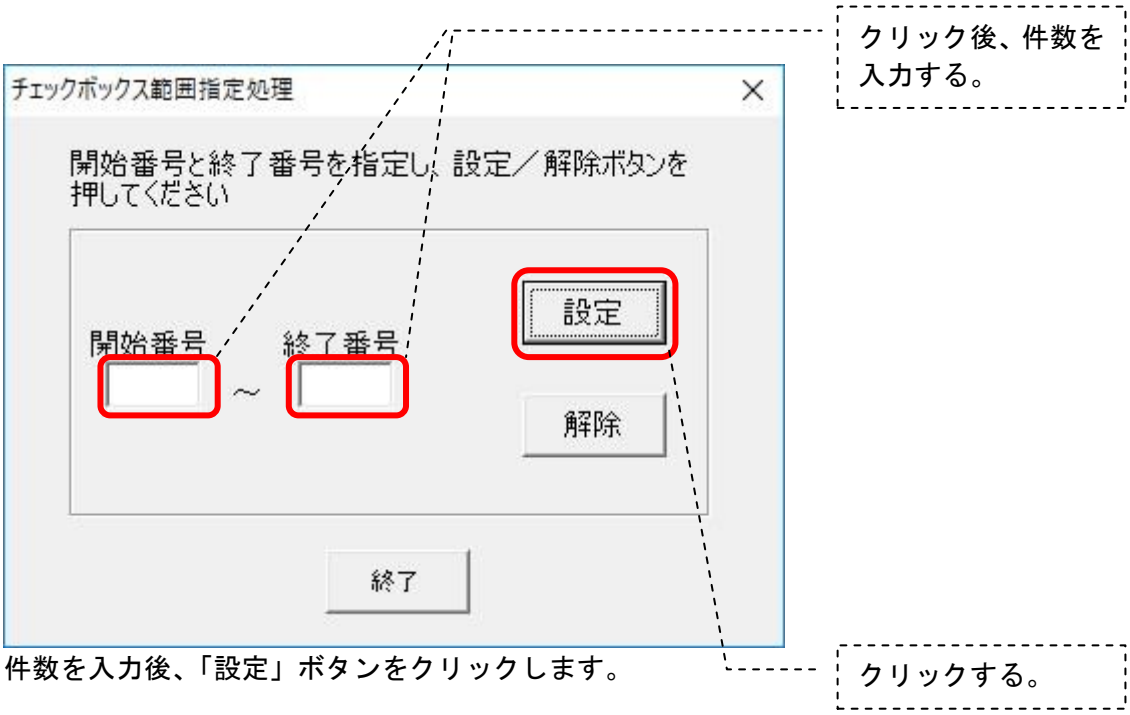
おしらせ

※１、「電話帳ファイル変換シート.xls」の詳細仕様は、本書「4.4章　電話帳ファイル変換シート」をご確認ください。

(2) 新規作成する電話帳情報の件数を指定します。

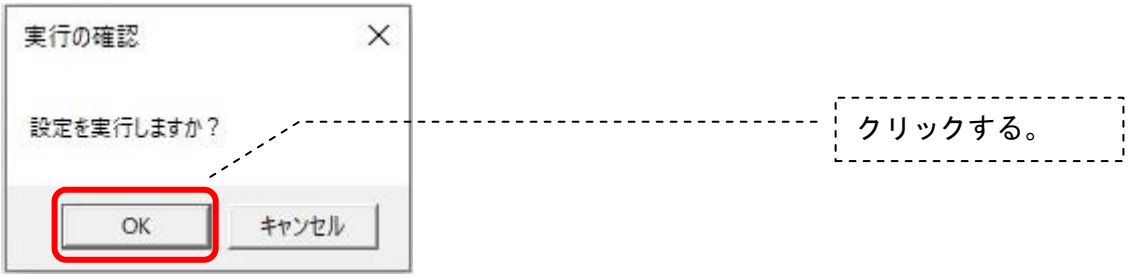


(3)「チェックボックス範囲指定処理」画面が開き、「開始番号」と「終了番号」をクリックし、件数を入力します。(例　１件の場合は、「開始番号」と「終了番号」に１を入力する)

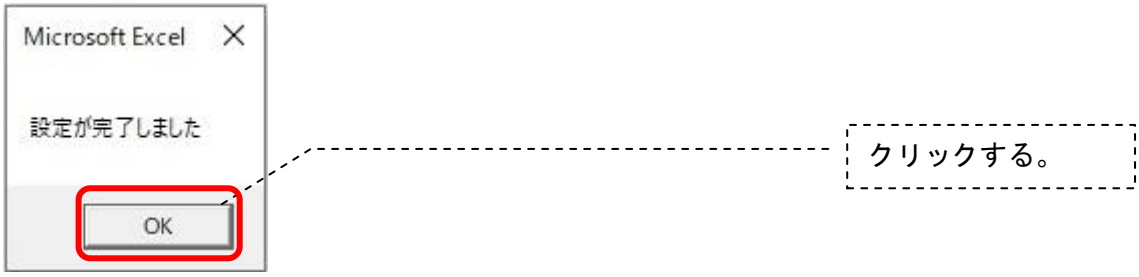


件数を入力後、「設定」ボタンをクリックします。

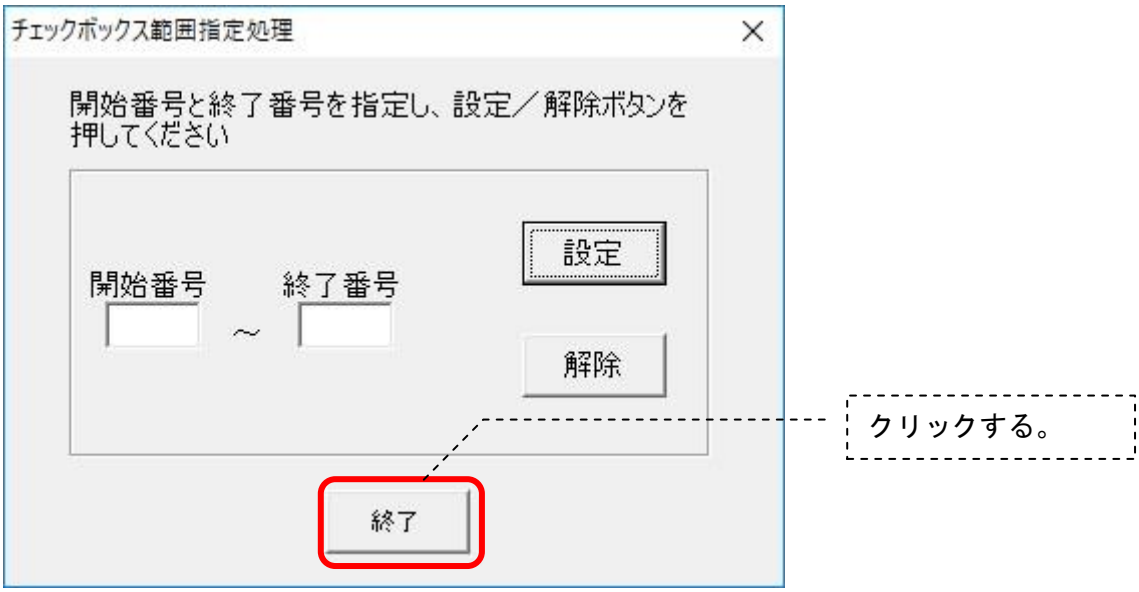
「設定」ボタンをクリックすると実行の確認画面を表示しますので、「ＯＫ」をクリックしてください。



「ＯＫ」をクリックすると、チェックボックス範囲指定処理を実行します。
チェックボックス範囲指定処理が完了すると、次の画面を表示しますので、「ＯＫ」をクリックしてください。



「終了」ボタンをクリックします。



(4) 「グループ」、「電話番号」、「電話帳名称」、「フリガナ」に任意の電話帳情報を入力します。
※最大５００件

クリック後、電話帳情報を入力する。※1

次の画面は、電話帳情報を入力した一例です。

お願い

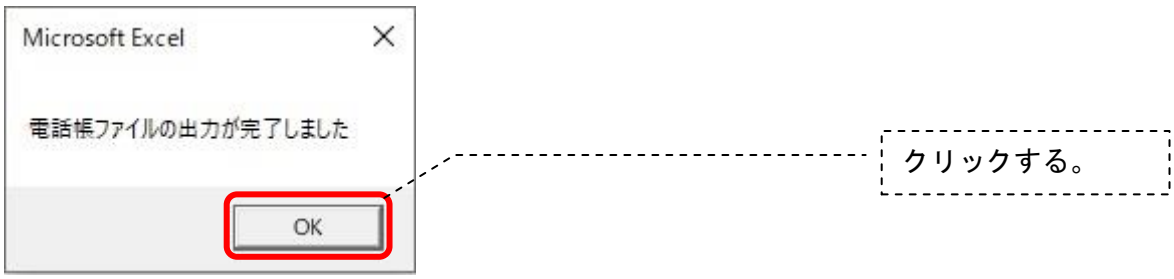
次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本ソフトウェアの本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

※１、「フリガナ」の列は、半角カタカナを入力してください。

(5) ファイルを出力します。

「電話帳ファイル」ボタンをクリックすると電話帳ファイルの出力先を指定する画面を表示しますので、SIPManager の電話帳フォルダに保存します。
(例 C:¥NAKAYO¥Group¥ggg¥Address)に保存してください。ggg は任意グループ名です。

「保存」ボタンをクリックすると次の画面を表示しますので、「ＯＫ」をクリックしてください。



お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本ソフトウェアの本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

※１、お使いの Microsoft Excel によっては、マクロ機能が無効になっている場合があります。
Microsoft Excel バージョンに応じて、マクロ機能を有効にしてください。

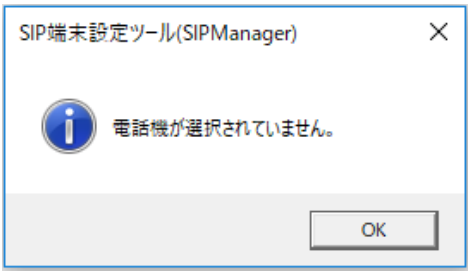
手順②：電話帳ファイル送信

(1)「電話機一覧」タブをクリックし、電話帳ファイルを送信する電話機を選択します。

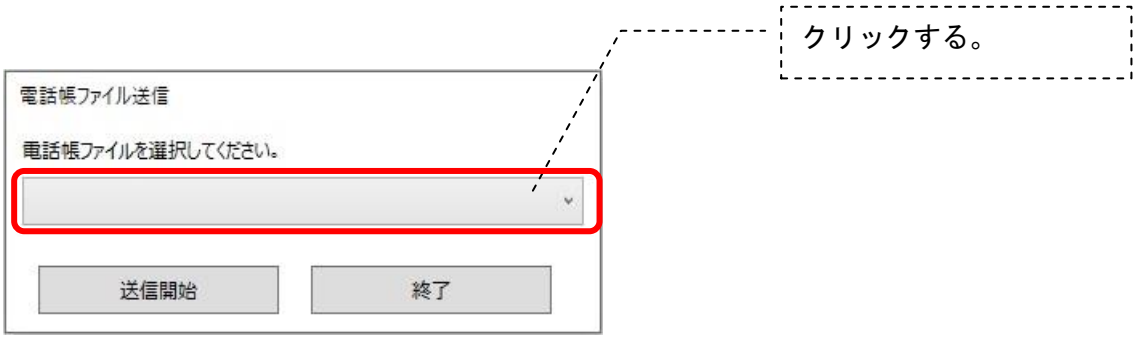
(2)「電話帳ファイル送信」ボタンをクリックします。※１

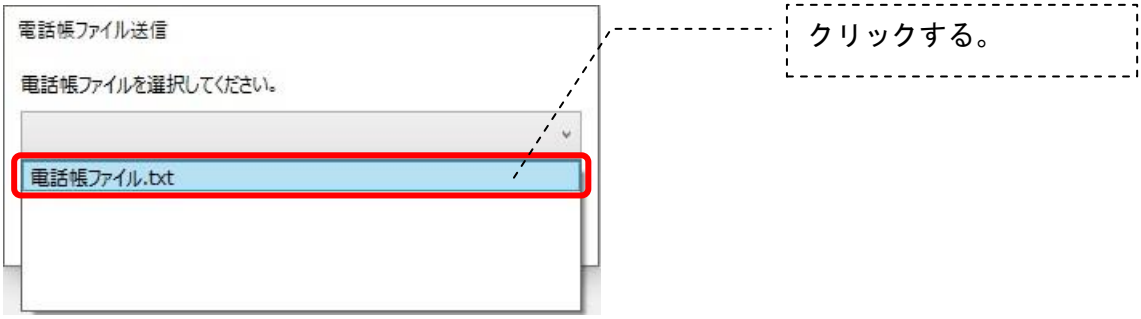
おしらせ

※１、「電話機一覧」のタブで電話機を「選択」せずに「電話帳ファイル送信」ボタンをクリックするとエラー画面を表示しますので、「OK」をクリックしてください。

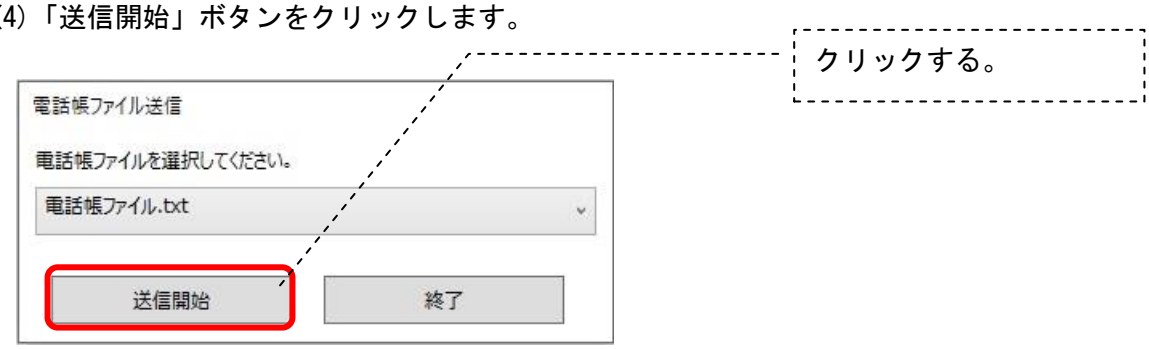


(3)「電話帳ファイル送信」画面が開き、送信する電話帳ファイルを選択します。





(4)「送信開始」ボタンをクリックします。



「送信開始」ボタンをクリックすると確認画面を表示しますので、「はい」をクリックしてください。

進捗状況を表示する画面が表示されます。

３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

電話帳ファイルを送信すると、「Status」に結果を表示します。
「Status」に”電話帳送信:成功”が表示されることを確認してください。※１

電話帳ファイルを送信し、送信が成功した画面表示例

電話帳ファイルを送信し、送信が失敗した画面表示例

以上で、電話帳ファイルを新規作成して電話機に送信する方法は完了です。

おしらせ

※１、「Status」に”電話帳送信:成功”が表示されても、書込みできていない場合があります。
電話帳ファイル送信結果の確認は、「電話帳データ取込」ボタンをクリックして”Address”フォルダ内の address_xxx.txt をテキストエディタで開いて確認することができます。
xxx には項番が保存されます。(例 項番１の場合、address_001.txt)
フォルダ場所例 (C:¥NAKAYO¥Group¥ggg¥Address)。ggg は任意グループ名です。

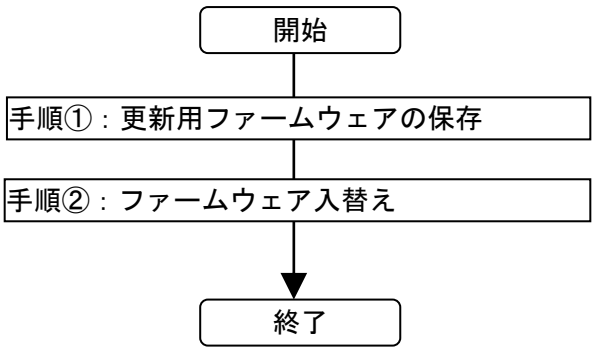
お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本ソフトウェアの本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

●ファイル送信中や送信終了直後に、電話機を操作したり、電源を抜いたりしないでください。
本ソフトウェア上で”成功”が表示されても、電話機内部のメモリへの書込みが行われています。
ケーブルや電源を抜く場合、電話機が再起動され、待機状態になったことを確認してください。

３.５　ファームウェアの更新

ここでは、電話機が動作するためのファームウェアを更新する方法について説明します。
予め本ソフトウェアで、電話機検索が完了していることを前提に説明します。



手順①：更新用ファームウェアの保存
更新用ファームウェアを入手し、”Firm”フォルダに保存します。
フォルダ例(C:¥NAKAYO¥Firm)に保存してください。
(圧縮されている場合は解凍し、”***.s” のファイルを保存します。)

※更新用ファームウェアの入手については、販売店もしくは弊社のサービス保守窓口にお問合せください。

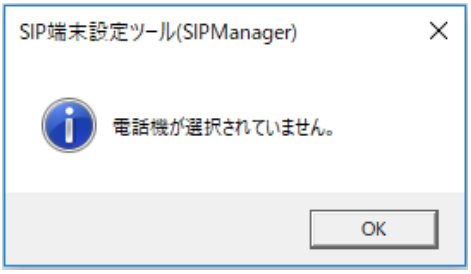
手順②：ファームウェア転送

(1)「電話機一覧」タブをクリックし、ファームウェア転送する電話機を選択します。

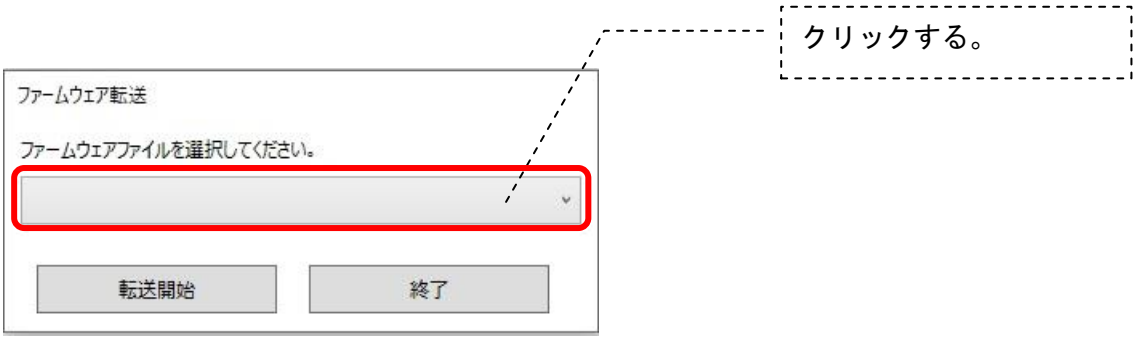
(2)「ファームウェア転送」ボタンをクリックします。※１

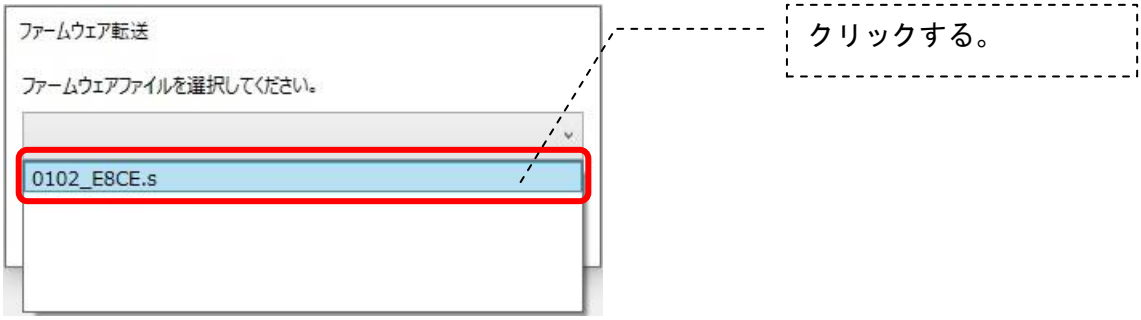
おしらせ

※１、「電話機一覧」のタブで電話機を「選択」せずに「ファームウェア転送」ボタンをクリックするとエラー画面を表示しますので、「OK」をクリックしてください。

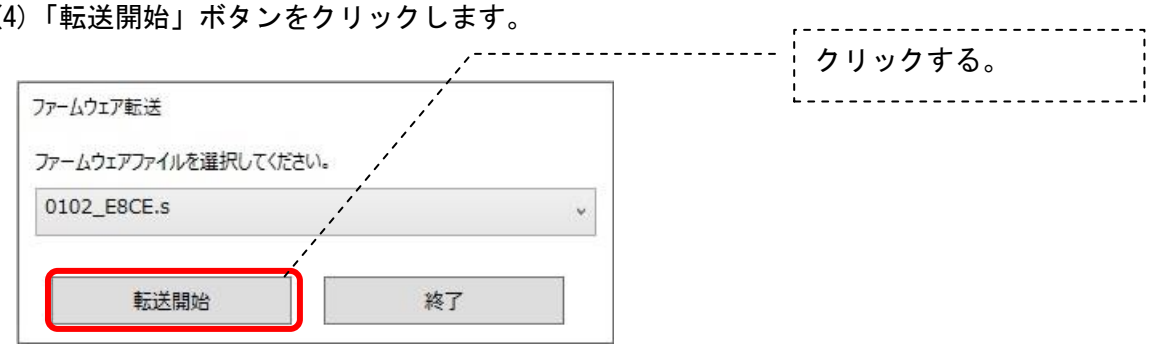


(3)「ファームウェア転送」画面が開き、ファームウェアファイルを選択します。



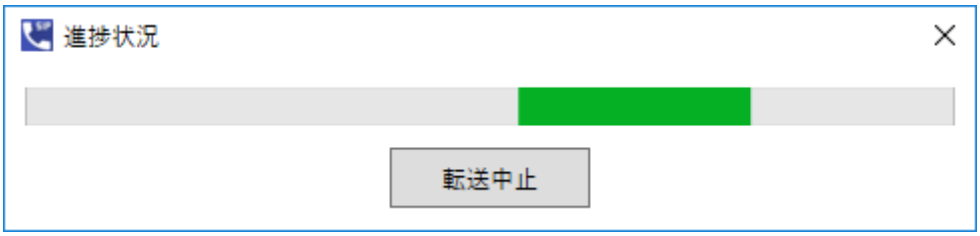


(4)「転送開始」ボタンをクリックします。



「転送開始」ボタンをクリックすると確認画面を表示しますので、「はい」をクリックしてください。

進捗状況を表示する画面が表示されます。



３．ＳＩＰ端末設定ツールの使い方

ファームウェアを転送すると、「Status」に結果を表示します。
「Status」に”ファーム転送:成功”が表示されることを確認してください。※１

設定ファイルを送信し、送信が成功した画面表示例

設定ファイルを送信し、送信が失敗した画面表示例

以上で、電話機のファームウェア更新の説明は、完了です。

おしらせ

※１、ファームウェアバージョンの確認は、「電話機検索」ボタンか「設定データ取込」ボタンをクリックして、「一覧表示」で確認することができます。
（下の画面は、設定データ取込した画面です。）

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本ソフトウェアの本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

●ファイル転送中や転送終了直後に、電話機を操作したり、電源を抜いたりしないでください。
本ソフトウェア上で”成功”が表示されても、電話機内部のメモリへの書込みが行われています。
ケーブルや電源を抜く場合、電話機が再起動され、待機状態になったことを確認してください。

４．付録

４.１　トラブルシュート

ここでは本ソフトウェアによる保守操作に関するトラブルと対策方法について説明します。

【事象１】
●電話機検索しても電話機を発見することができない。

↓

【対策１】
□ＰＣのＩＰアドレスが正しく設定されているか、ご確認ください。
例えば、電話機がＤＨＣＰでＩＰアドレスを自動取得する設定で、ＰＣのＩＰアドレスが固定設定の場合は、正常に動作しない場合があります。ＰＣのＩＰアドレスをＤＨＣＰで取得する設定にしてお使いください。
□ＰＣのファイアウォール設定をご確認ください。
「許可されたアプリの一覧にあるアプリも含め、すべての着信接続をブロックする」にチェックがついている場合、電話機を発見することができません。チェックをはずしてお使いください。
□本ソフトウェアは、IP-36N-ST101C(IP 電話機)専用の設定支援ソフトウェアであるため、IP-36N-ST101C 以外の電話機を発見しない仕組みが組み込まれています。(MAC アドレスフィルタ)
お使いの電話機が、IP-36N-ST101C であることをご確認ください。

【事象２】
●正しく設定が反映されない。

↓

【対策２】
□電話機で重複設定を防止する機能が働きますので、本ソフトウェアで設定した設定が電話機に反映されない場合があります。重複設定を防止する設定項目については電話機の工事説明書をご確認ください。

【事象３】
●「電話機検索」した「端末リスト」の内容が実際に稼働している電話機数よりも少ない。
●「ファイル送信」・「取込」で失敗となるケースがある。
●離れた拠点の電話機に対するファームウェアの転送操作で失敗となるケースがある。

↓

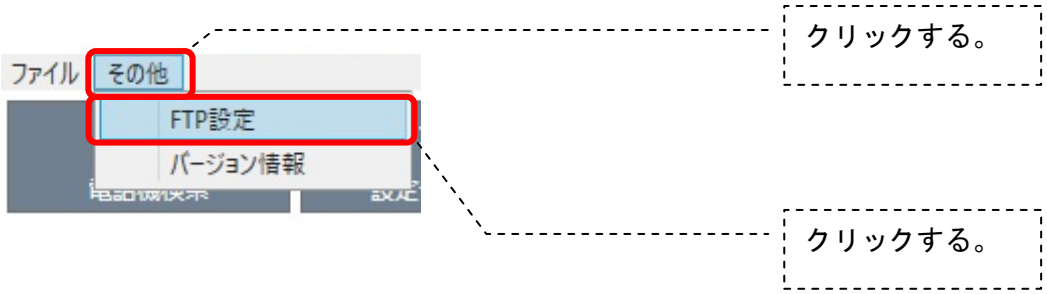
【対策３】
□電話機が待機状態でないことが考えられます。待機状態でない状態は以下が該当します。
通話中(ハンドセットオフフック時やスピーカ受話時)、電話機メニューを開いている時。
□ネットワークの輻輳等により、通信がスムーズに完了できないことが考えられます。この場合、電話機が設置された拠点(現地)にて作業を行ってください。

４.２　ＦＴＰログインパスワードの変更

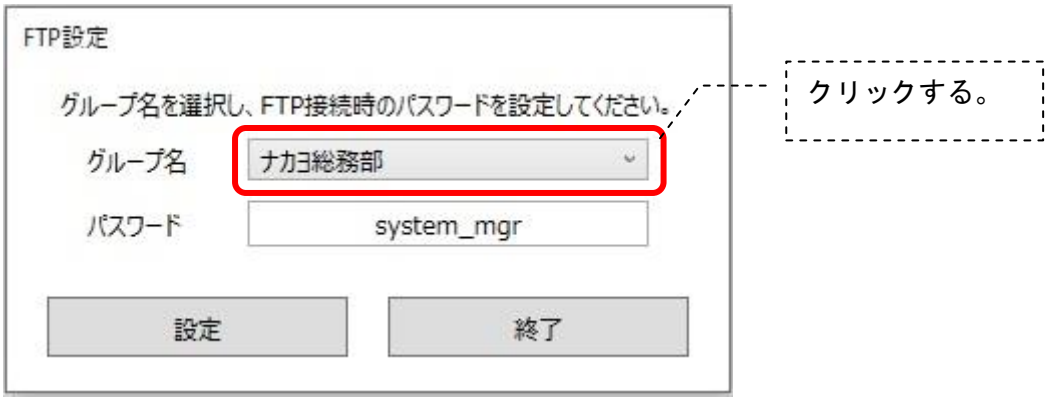
ここでは、本ソフトウェアが電話機に接続するためのパスワードを変更する方法を説明します。

※初期値として、パスワード＝”system_mgr”が設定されています。
変更が必要な場合のみ設定を行ってください。

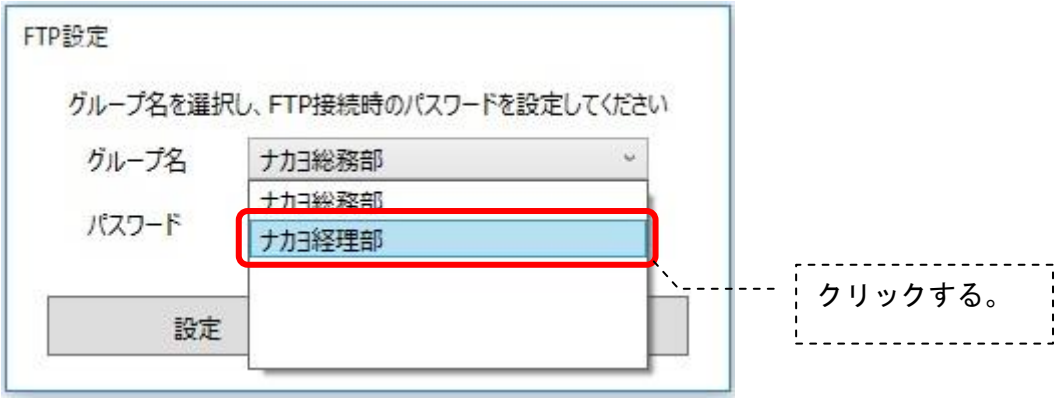
手順①：ＦＴＰ設定
「FTP 設定」をクリックします。



手順②：グループ選択
グループ名のプルダウンをクリックします。



プルダウンが開き、グループを選択します。



手順③：パスワード変更

(1)パスワード入力欄をクリックし､パスワードを変更した後｢設定｣ボタンをクリックします。

(2)「終了」ボタンをクリックし、「FTP 設定」画面を閉じます。

以上で、ＦＴＰログインパスワードの変更は完了です。

おしらせ

※１、電話機の「FTP ログインパスワード」は、「保守」タブで設定変更できます。

※２、「設定」ボタンをクリックしないで、「終了」ボタンをクリックすると、設定されません。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本ソフトウェアの本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねくことがあります。

●FTP ログインパスワードを誤って設定すると、ＰＣと電話機が接続できなくなりますので、本ソフトウェアの機能が使用できなくなります。特に指示がない限り変更しないでください。

４.３　一覧表示整列機能(ソート)

ここでは、一覧表示に表示した複数の電話機の中から特定の電話機を見つけ易くするために、表示順を整列する方法について説明します。

一例；予め電話機検索で発見した６台の電話機の中から、電話機の MAC アドレスで整列させて、「f4-96-51-78-ff-ff」を見つけたい場合について説明します。※１

手順①：昇順整列

列名「MAC」をクリックします。

クリックする。

項番	選択	C	P	Status	MAC	ファームバージョン	内線番号	IPアドレス
1	□	□	□		f4-96-51-78-00-00	0101	101	192.168.1.51
2	□	□	□		f4-96-51-78-ff-ff	0101	102	192.168.1.52
3	□	□	□		f4-96-51-78-66-28	0101	103	192.168.1.53
4	□	□	□		f4-96-51-78-77-02	0101	104	192.168.1.54
5	□	□	□		f4-96-51-78-65-eb	0101	105	192.168.1.55
6	□	□	□		f4-96-51-78-65-e2	0101	106	192.168.1.56

「一覧表示」が次の画面のようになります。

昇順整列したことを表示します。

項番	選択	C	P	Status	MAC	ファームバージョン	内線番号	IPアドレス
1	□	□	□		f4-96-51-78-00-00	0101	101	192.168.1.51
6	□	□	□		f4-96-51-78-65-e2	0101	106	192.168.1.56
5	□	□	□		f4-96-51-78-65-eb	0101	105	192.168.1.55
3	□	□	□		f4-96-51-78-66-28	0101	103	192.168.1.53
4	□	□	□		f4-96-51-78-77-02	0101	104	192.168.1.54
2	□	□	□		f4-96-51-78-ff-ff	0101	102	192.168.1.52

クリックする。

手順②：降順整列

昇順整列した状態で、列名「MAC」をクリックします。

降順整列したことを表示します。

項番	選択	C	P	Status	MAC	ファームバージョン	内線番号	IPアドレス
2	□	□	□		f4-96-51-78-ff-ff	0101	102	192.168.1.52
4	□	□	□		f4-96-51-78-77-02	0101	104	192.168.1.54
3	□	□	□		f4-96-51-78-66-28	0101	103	192.168.1.53
5	□	□	□		f4-96-51-78-65-eb	0101	105	192.168.1.55
6	□	□	□		f4-96-51-78-65-e2	0101	106	192.168.1.56
1	□	□	□		f4-96-51-78-00-00	0101	101	192.168.1.51

おしらせ

※１、内線番号やＩＰアドレスなど、他の列名で同様に整列することができます。
　　整列機能は、選択したタブのみ整列し、他のタブには影響しません。

４．付録

４.４　電話帳変換シート

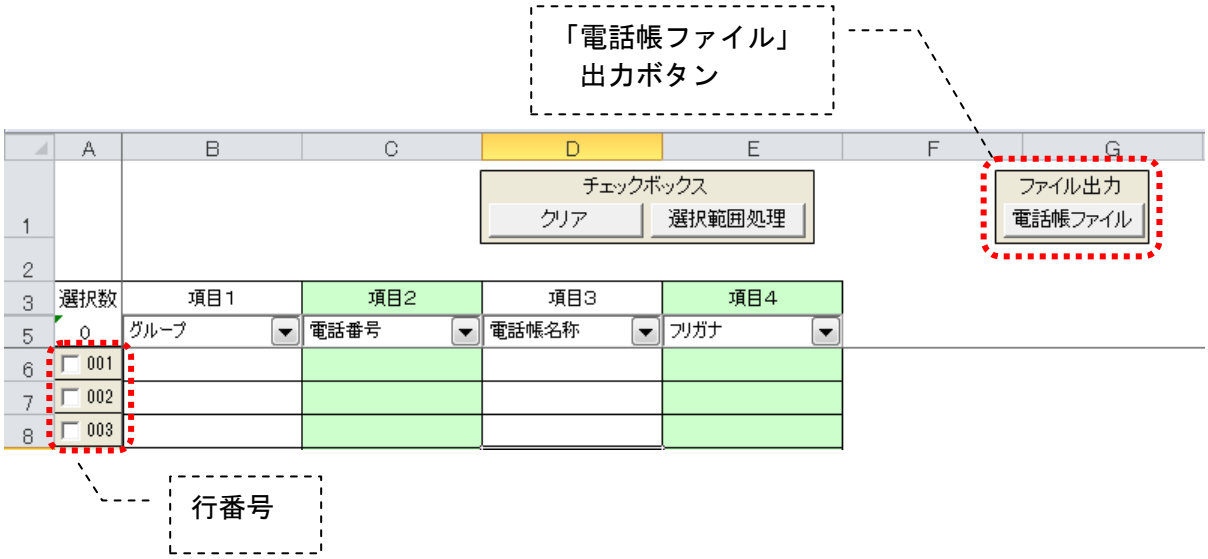
ここでは、電話帳変換シートの仕様について説明します。

(1)電話帳ファイル出力について

電話帳変換シートの「電話帳ファイル」出力ボタンを操作して出力した「電話帳ファイル」はテキスト形式で、下表のように出力します。

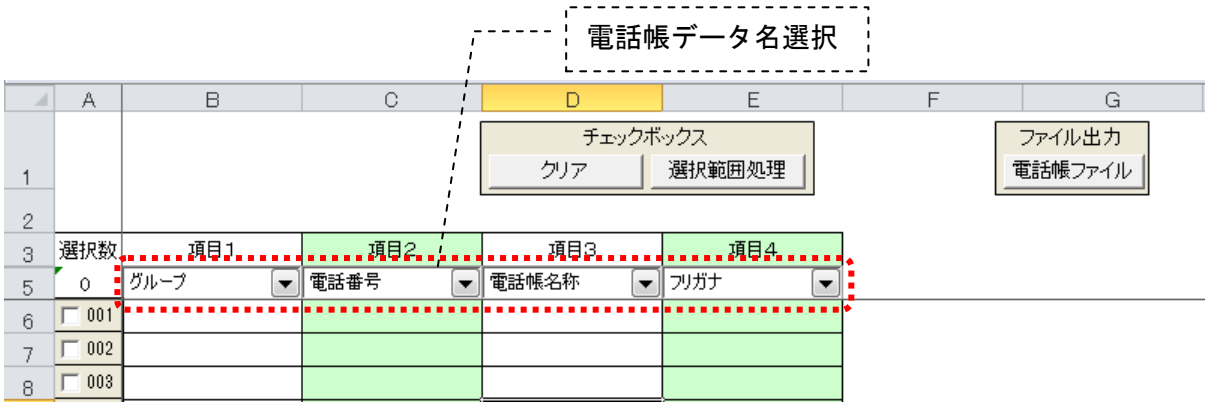
行番号を－１(マイナス１)した電話帳データを出力しますので、出力した「電話帳ファイル」は、そのまま電話機に「電話帳ファイル送信」することができます。

行番号	出力前(初期値)	出力後(一例)
001	<tel_dir0>,,,1</tel_dir0>	<tel_dir0>0123,ﾅｶﾖ,ナカヨ,2</tel_dir0>
:	:	:
500	<tel_dir499>,,,1</tel_dir499>	<tel_dir499>0123,ﾅｶﾖ,ナカヨ,2</tel_dir499>



(2)電話帳データ名選択について

電話帳変換シートの「電話帳データ名選択」を変更できますが、お使いの電話機(IP-36N-ST101C)用に設定していますので、変更する必要はありません。



４．付録

４.５　来歴

本ソフトウェアのリリースノートを下表に記載します。

項番	本ソフトウェアバージョン	内容	備考
1	0.0.5	初版	ー
2	1.0.0	一部、機能改善しました。	ー
		改善内容①、各設定項目タブの設定データ編集時に「選択」チェック不要で設定編集可能にしました。	
		改善内容②、発見した複数の電話機を文字で並び替え整列（ソート）する機能を追加しました。	
		改善内容③、「プログラマブルキー設定」を設定項目タブ化し、ボタン配置を電話機と同じ配置にしました。	